

保存版

令和4年4月作成



藤井寺市



藤井寺市公式キャラクター まなりくん

ガイド
ブック

いざというときのため取り出しやすい場所に保管しておきましょう

目

災害に備えて【共通編】	1～8
防災情報について	3～6
家庭での備蓄について	7～8
災害に備えて【地震編】	9～12
災害に備えて【風水害編】	13～19

次

洪水ハザードマップ	20～32
河川ごとの浸水想定区域	29～30
浸水継続時間	31～32
内水ハザードマップ	32～40
避難施設一覧	41～42

発行

藤井寺市 危機管理室

〒583-8583 大阪府藤井寺市岡1丁目1番1号

電話：072-939-1111



藤井寺市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

平常時と災害時の取り組み

災害発生時には、藤井寺市や関係機関は全力をあげて対応にあたりますが、火災や道路の寸断・断水・停電など様々な被害が広い範囲で起きた場合は、対応が非常に困難な事態が予想されます。このような場合には、地域ぐるみで協力し、助け合うことが大切になります。地域の自主防災組織を結成して、防災知識を身につけることや、いざというときの役割分担を決めるなどして、地域の防災力を高めましょう。

自助

自分の命は自分で守る



共助

自分たちの地域は自分たちで守る



公助

市や府、国、防災関係機関が住民等を援助する



住民同士が協力して地域の防災力を高めよう

自主防災組織の役割と活動

自主防災組織とは、地域住民が協力・連携し、災害から「自分たちの地域は自分たちで守る」ために結成する組織のことです。日頃から防災に関する様々な取り組みを行うとともに、災害発生時には被害を最小限に食い止めるための活動を行います。藤井寺市では、各自治会において自主防災組織を結成しています。自治会に加入されていない方は、積極的に加入しましょう。

■ 平常時の取り組み

緊急時の連絡網の作成や防災広報の発行、地域内の危険箇所の把握、防災資機材(トランシーバー・消火器・非常食など)の整備、地域における防災・消防訓練など、予防的な活動に取り組むことが求められます。



■ 災害時の活動

被害者の救出救護、応急手当、初期の消火活動、避難誘導、被害状況の収集や把握など、災害発生時の被害を軽減させることが重要になります。



避難行動要支援者について

避難行動要支援者とは、年齢や障がい、言葉の違いなどによって災害発生時の対応に支援を要する人々のことです。一般に高齢者や障がい者、乳幼児や妊産婦、日本語を十分理解できない外国人の方々などが該当します。地域で協力しながら、近所の高齢者、障がいのある方などの安否確認、避難所への移動を支援しましょう。

■ 高齢者・病人

- おぶって安全な場所まで避難する。
- 複数の介助者で対応する。



■ 目の不自由な方

- 声をかけ情報を伝える。
- 誘導する場合は、杖を持った方の手には触れず、ひじのあたりを軽く持ってもらい、半歩手前をゆっくり歩く。



■ 肢体の不自由な方(車椅子)

- 階段では2人以上が必要。上がりは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。
- 介助者が1人の場合、ひもなどを用意し、おぶって避難する。



■ 耳の不自由な方

- 話すときは、口をハッキリと開け、相手にわかりやすいようにする。
- 手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。



ペットとの同行避難

「同行避難」とは、災害発生時に飼い主がペットを連れて避難所まで避難することです。避難所には様々な方が避難されるため、原則として、**人とペットが同じ空間で居住する「同伴避難」はできません**。各指定避難所にて同行避難の受け入れは可能ですが、避難所の被災状況等によっては、受け入れができない場合があります。発災後、ペットと一緒にすぐに避難できるよう、下記の例を参考に、ペット用の防災用品をリュックサック等に入れて備えておきましょう。水や食糧などは1週間分を目安に用意しましょう。

ペットフード

飲料水(1週間分)

救急用品(処方薬、はさみ、包帯など)

衛生用品(ペットシート、タオルなど)

ケージやリード、キャリーバッグ

ペットの健康記録(治療記録、ワクチン接種歴など)

ペットの写真 など



また、はぐれた時のために、動物病院でマイクロチップを取りつけておくことや、首輪に迷子札(犬の場合は、鑑札・狂犬病注射済票のコピーも)をつけ、飼い主の氏名や住所、電話番号等の連絡先を書いておきましょう。

避難時の感染症対策

■ 避難所に入るとき

- ・避難所運営者による発熱等の確認完了後、避難所運営者の指示で順番に避難所へ入ってください。
- ・避難所内では、マスクを着用してください。マスクをお持ちでない場合は、受付時に申し出てください。

■ 密を避ける

- ・避難所は限られたスペースですので、どうしても「密」が起こりやすいです。安全な場所にある親戚や友人宅に避難することも検討してください。
- ・車中泊を行う場合は、エコノミークラス症候群や熱中症などに注意してください。

3密回避

密閉空間 換気が悪い

30分に1度は換気を行う。

密集空間 多数が集まる

避難者同士の距離を保つ。

密接場面 間近で会話や発声

近距離での会話や発声は最低限で。

■ 衛生・健康管理

- ・ふたのあるトイレは、ふたをしてから流してください。
- ・定期的に検温を行ってください。
- ・体調不良の場合は、避難所運営者に申し出てください。
- ・持ち出し品としてマスク・消毒液を準備しておきましょう。

■ 手洗い、咳エチケットの励行

- ・避難所内では必ずマスクを着用してください。マスクのない場合は、避難所運営者に申し出てください。また咳エチケットも併せてお願いします。
- ・こまめに手洗いを行い、食事前やトイレ後は必ず手洗い、手指消毒を行ってください。



避難行動要支援者支援制度登録

市では、家族などの手助けが無く、ひとりでは避難が難しい方などの災害時支援対策として「避難行動要支援者支援制度」を運用しています。大規模な災害が発生したときに、地域における支援などを希望される方の登録を行っています。

■ 対象

市内に居住している在宅の方で、次のいずれかに該当する方

- ①要介護3～5の認定を受けている方
 - ②身体障害者手帳1・2級(総合等級)の第一種に該当する方
 - ③療育手帳Aに該当する方
 - ④精神障害者保健福祉手帳1級に該当する方
- ※①～④に該当しない方で、災害時の避難行動に不安がある方は、手続きにより制度への登録が可能です。

■ 登録情報の提供先

地区自治会、柏原羽曳野藤井寺消防組合、大阪府羽曳野警察署

■ 情報の利用目的

災害時の安否確認や避難支援、防災訓練や災害時に備えた活動、柏原羽曳野藤井寺消防組合の救急活動など

■ 申込・問合せ先

- 危機管理室 企画担当(4階48番窓口) ☎939-1190
- 協働人権課 広聴・協働担当(1階4番窓口) ☎939-1331

■ 登録方法

申請書兼同意書に必要事項を記入の上、申込・問合せ先のいずれかまで
※申請書兼同意書は市ホームページからダウンロード
できます。

※新たに登録対象となった方に申請書兼同意書を郵送
します。記入後、同封の返信用封筒で返送してください。



■ 注意事項

- 避難行動要支援者への支援は、避難支援等関係者による任意の協力であり、制度への登録によって災害時などの支援を保証するものではありません。また、避難支援等関係者は、避難行動要支援者の避難誘導などに関して、その責任を負うものではありません。
- 既に登録している方で、電話番号など登録した情報が変更になった方は、登録変更届出書を申込・問合せ先へ提出してください。

- 福祉総務課 障害者福祉担当(1階6番窓口) ☎939-1106
- 高齢介護課 高齢者福祉支援担当(1階3番窓口) ☎939-1169

防災情報の伝達経路

市等が発信する情報



自ら入手する情報



市等が発信

自ら入手

市民のみなさん

「災害モード」宣言の実施について

大阪府では、広域的な大規模災害が発生もしくは迫っていることを府民や事業者等に呼びかける「災害モード宣言」を運用しています。

例) 強い台風の接近が見込まれる場合などに、市民に不要不急の外出を控えていただくことや、藤井寺市から発信される避難情報等に注意するよう、事前の備えを促します。

詳しくは、右のQRコードまたは、市ホームページの次の箇所をご確認ください。

ホーム > 組織からさがす > 危機管理室 > 危機管理室 > 災害に備えて > 「災害モード」宣言(大阪府)の運用開始について



警戒レベルと避難情報

避難情報等や防災気象情報の意味を直感的に理解できるよう、5段階の警戒レベルに分類しています。気象庁や大阪府、藤井寺市等が発表する情報に注意し、警戒レベルに応じて、適切な避難行動をとってください。

危険度	警戒レベル	避難情報等	状況	住民がとるべき行動	
↑ 高 ↓ 低	警戒レベル5	緊急安全確保※1 (藤井寺市が発令)	災害発生 または切迫	命の危険 直ちに安全確保!	
 警戒レベル4までに必ず避難!				
	警戒レベル4	避難指示 (藤井寺市が発令)	災害のおそれ高い	危険な場所から 全員避難	
	警戒レベル3	高齢者等避難 (藤井寺市が発令)	災害のおそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難※2	
	警戒レベル2	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁が発表)	気象状況悪化	自らの避難行動を 確認	
警戒レベル1	早期注意情報 (気象庁が発表)	今後気象状況 悪化のおそれ	災害への心構えを 高める		

※1: 災害の発生を把握できていない場合もあるため、警戒レベル5「緊急安全確保」は必ず発令されるものではありませんのでご注意ください。

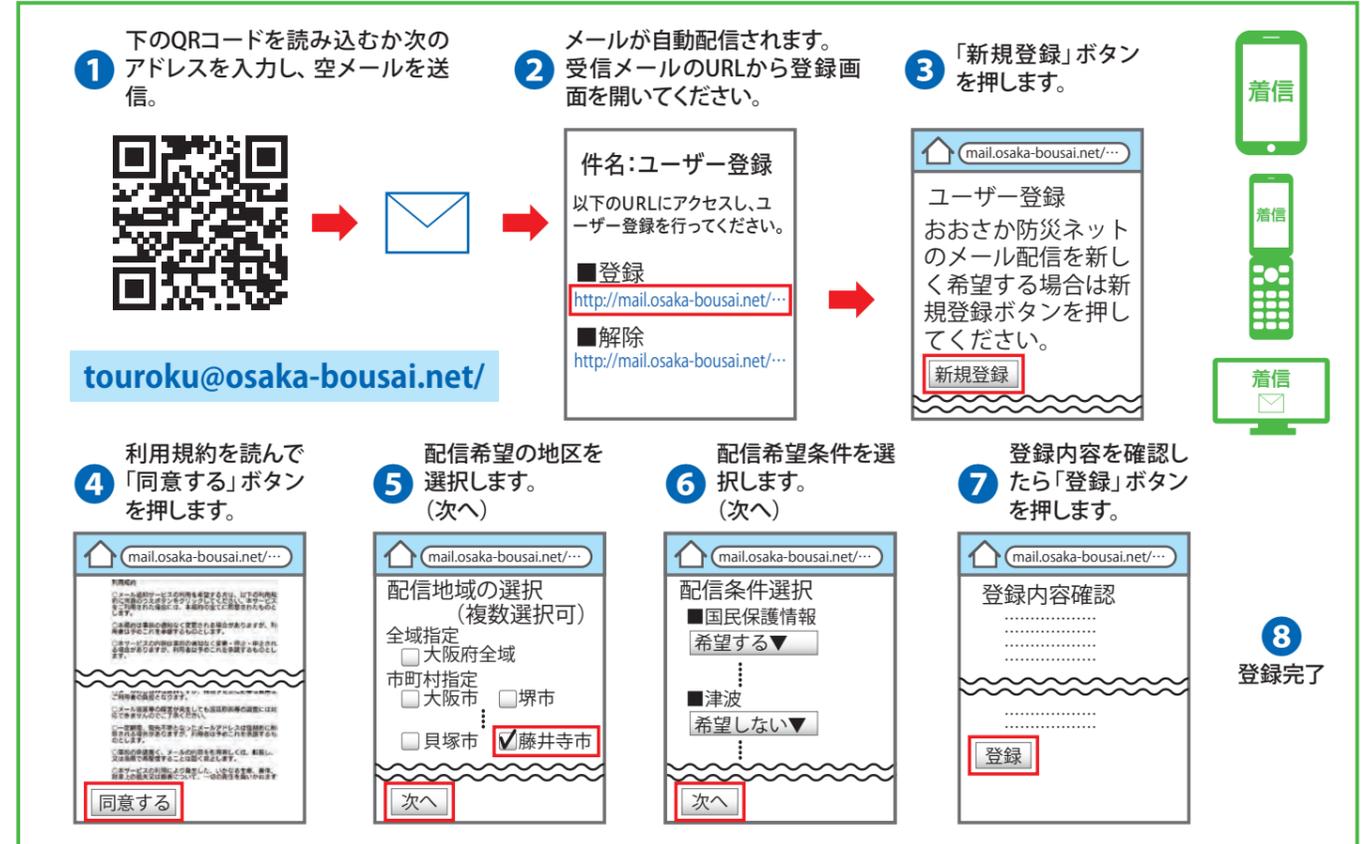
※2: 高齢者等以外の方も危険を感じたら自主的に避難してください。

今後、国や気象庁により避難情報等の名称が変更される可能性がありますので、最新の情報を確認してください。

防災情報メール【大阪府】

地域に発表された気象情報や避難情報などの防災情報をメールで大阪府がお知らせします。

詳しくはこちら <http://www.osaka-bousai.net/pref/PreventInfoMail.html>



災害時緊急情報

緊急地震速報(登録等は不要です。)

最大震度が5弱以上と推定される地震の発生直後に、震度4以上の揺れが予想される地域に対して気象庁から発表され、テレビやラジオ、携帯電話等で入手することができます。

緊急地震速報が発表されてから強い揺れが到達するまでの時間は、数秒から数十秒と極めて短い時間です。緊急地震速報が発表されると、**テレビやラジオなどでは「チャイム音」、携帯電話では「ブザー音」**が流れます。

「チャイム音」はNHK、「ブザー音」はNTTドコモのホームページで試聴することができます。緊急時、とっさに身を守る行動がとれるように、前もって試聴しておきましょう。

エリアメール・緊急速報メール

藤井寺市では、災害情報や避難情報などを迅速に伝達できるように、NTTドコモが提供する「エリアメール」、KDDI・ソフトバンクモバイル・楽天モバイルが提供する「緊急速報メール」を運用しています。

◇受信できない場合

- ・通話中やパケット通信中の場合
- ・圏外及び電波状態の悪い場所にいる場合
- ・電源OFF及び電源OFFモードや航空機モードの場合
- ・配信対象エリア外の場合
- ・対応機種でない場合
- ・受信設定がなされていない場合

◇特徴

受信料は無料で、登録も不要、受信すると専用着信音が流れ表示されます。



藤井寺市LINE公式アカウントについて

藤井寺市では、市政やイベント情報、市の魅力などの情報のほか、災害等の緊急情報を積極的に発信するため、藤井寺市LINE公式アカウントを運用しています。

災害に備えて

「災害に備えて」のボタンをクリックすると、防災関係のサイトへリンクできるボタンが表示されます。日頃から、避難場所、藤井寺市防災ガイドブックなどをチェックし、災害に備えましょう。



緊急時にも対応!

地震発生時、大雨・台風などの緊急時には随時、緊急情報を発信するとともに、トーク画面下部のメニューも変更します。

ID検索で追加

ID @fujideracity

1. LINEアプリを開き、画面左下の「ホーム」をクリックする。
2. 「ホーム」画面右上の「友だち追加マーク」をクリックする。
3. 「友だち追加」画面の右端の「検索」をクリックする。
4. 検索欄に「@fujideracity」と入力し、検索ボタン（虫眼鏡マーク）をクリックする。
5. 「藤井寺市」アカウントが表示されるので、「追加」ボタンをクリックしてください。

QRコードで追加

1. LINEアプリを開き、画面左下の「ホーム」をクリックする。
2. 「ホーム」画面右上の「友だち追加マーク」をクリックする。
3. 「友だち追加」画面の中央の「QRコード」をクリックする。
4. カメラモードに切りかわったら、下記のQRコードを読み取る。
5. 「藤井寺市」アカウントが表示されるので、「追加」ボタンをクリックしてください。



地震時のメニュー

大雨・台風時のメニュー



※画像は、令和4年3月時点で運用中のものです。今後の状況によって内容を変更する場合があります。

防災行政無線



防災行政無線とは、市内34か所に設置している屋外スピーカーを通じて、緊急性の高い情報などを市民の皆さんにお知らせするシステムです。避難に関する情報「高齢者等避難・避難指示・緊急安全確保」や全国瞬時警報システム（Jアラート）と連動した情報のほか、市からのお知らせなどを放送します。

風や雨などで防災行政無線の放送が聞こえにくい時に、**放送から24時間以内**であれば、最新の放送内容を電話で確認できるサービスも導入しています。

0800-200-9391 (フリーダイヤル)



令和3年1月配布
「マグネットステッカー」

災害用伝言ダイヤルの利用方法

地震や洪水などの災害発生時に、「災害用伝言ダイヤル」が開設されます。このサービスは、大規模な災害が発生した場合、「声の伝言板」(安否情報)の役割をするNTTの電話サービスです。被災地内とその他の地域の人々との間で、伝言の録音・再生を行うことができます。※携帯電話各社でも同様のサービスを提供しています。

■災害用伝言ダイヤル「171」

このサービスは、大規模な災害が発生した場合、「声の伝言板」(安否情報)の役割をする電話サービスです。被災地内とその他の地域の人々との間などで、伝言を登録・再生することができます。

伝言の録音方法

1. **171**をダイヤル
2. **1**を押す
3. 被災地の方の電話番号を「市外局番」からダイヤルしてください
4. 伝言を録音する

伝言の再生方法

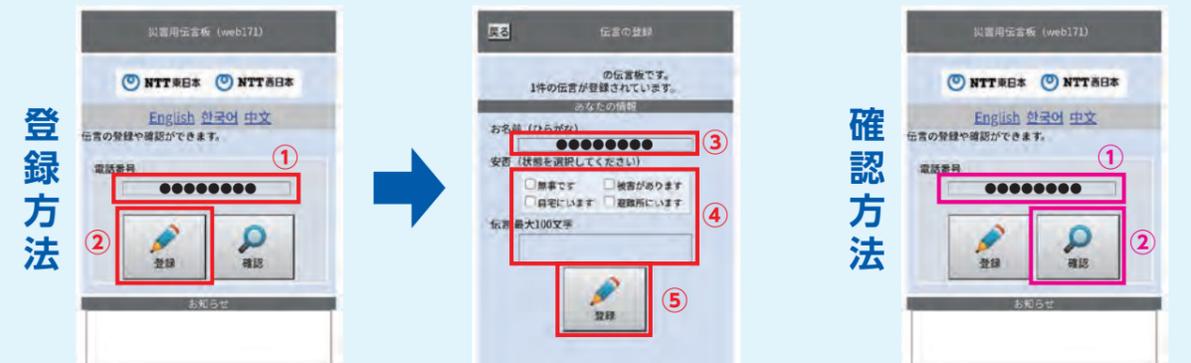
1. **171**をダイヤル
2. **2**を押す
3. 被災地の方の電話番号を「市外局番」からダイヤルしてください
4. 伝言を再生する

■NTT災害用伝言板「web171」

<https://www.web171.jp/>



NTTでは、日本国内で震度6弱以上の地震など大規模な災害が発生した場合に、パソコンや携帯電話、スマートフォンで安否確認ができる「災害用伝言板」を提供しています。



1. ご自身の電話番号(ハイフンなし)を登録します。
2. 「登録」を押します。
3. ご自身のお名前を登録します。
4. 安否状態を選択します。伝言があれば入力します。
5. 「登録」を押します。
1. 相手の電話番号(ハイフンなし)を登録します。
2. 「確認」を押すと相手の伝言が確認できます。

※各携帯電話会社も同様のサービスを行っています。詳しくは各携帯電話会社のHPをご確認ください。機種等によって利用方法や画面が異なる場合があります。

体験利用のご案内

災害用伝言ダイヤル(171) & 災害用伝言板(web171)

体験利用日

- ・毎月1日及び15日 00:00~24:00
- ・正月三が日(1月1日00:00~1月3日24:00)
- ・防災週間(8月30日9:00~9月5日17:00)
- ・防災とボランティア週間(1月15日9:00~1月21日17:00)

伝言保存期間

伝言保存期間は体験利用期間のみ

家庭での備蓄について

災害発生直後は物資が手に入りづらい状況が続くことが想定されます。日ごろから**1週間分以上を目安**に生活に必要なものをストックしておきましょう。特に**乳幼児や高齢者がいるご家庭や食品アレルギーのある方は、普段から食べているものを備蓄しておくこと**で、災害時にも安心して食事をすることができます。

家庭での備蓄は『ローリングストック』で

『ローリングストック』とは、備蓄している食料品や生活用品を古いものから使用し、使った分を新しく買い足す備蓄方法です。賞味期限切れによる廃棄などの無駄をなくして賢く備えましょう。



食料品 最低3日分は必要です!

電気・ガス・水道が止まることも想定し、**加熱・調理しなくても食べられるもの**も用意しておきましょう。

チェック欄	品名	チェック欄	品名
	飲料水(1人1日3ℓ)		菓子類(アメ、チョコレートなど)
	主食(アルファ化米、レトルトご飯、乾麺など)		栄養補助食品
	主菜(缶詰、インスタント麺、レトルト食品、冷凍食品など)		野菜ジュース・ドライフルーツ(ビタミン補給に)

生活用品

ポリ袋・ゴミ袋	除菌ウエットティッシュ	使い捨てカイロ
食品用ラップ	救急箱・常備薬	モバイルバッテリー
ティッシュペーパー	マスク	ほうき・ちりとり
トイレトペーパー	消毒液	

防災用品

生活用水(風呂の残り湯など)	カセットコンロ	簡易トイレ
携帯ラジオ	カセットボンベ	水のいらないシャンプー
懐中電灯	ろうそく	軍手・使い捨てゴム手袋
予備の乾電池	ライター・マッチ	給水袋・ポリタンク
ヘルメット(防災頭巾)	ランタン	ロープ

家族構成や家庭の状況によって必要なもの

女性	乳幼児	高齢者	その他
生理用品	粉ミルク・液体ミルク	おかゆなどやわらかい食品	コンタクトレンズ
	離乳食	おむつ	補聴器用電池
	食べなれたおやつ	入れ歯洗浄剤	
	おしりふき		
	おむつ		

非常持出し袋を準備しましょう

避難の際、当面必要なものをすぐ持ち出せるようにリュックサックなどにまとめて準備しておきましょう。荷物の量は、**男性15kg、女性10kgが目安**です。避難の邪魔にならず持ち出せるよう必要最小限にまとめましょう。

食料品

そのまま食べられるものが便利

飲料水	栄養補助食品
アルファ化米	缶詰(缶切り)
乾パン	アメ・チョコレート

貴重品

小銭があると便利

現金	免許証(コピー)
小銭(公衆電話用)	健康保険証(コピー)
通帳(コピー)	マイナンバーカード(コピー)
印鑑	

医薬品

普段服用している薬
常備薬
お薬手帳(コピー)
救急箱・救急セット

防災用品

懐中電灯	軍手(厚手のもの)
携帯ラジオ	ライター・マッチ
予備の電池	ろうそくランタン
ヘルメット(防災頭巾)	ナイフ

生活用品

マスク
消毒液
簡易トイレ
水筒
携帯電話・スマホの充電器

モバイルバッテリー
除菌ウエットティッシュ
ティッシュペーパー(流せるもの)
タオル・バスタオル
食品用ラップ

ポリ袋
歯ブラシ・歯みがきシート
水のいらないシャンプー
使い捨てカイロ

衣類

着替え(下着など)
防寒着
レインコート
毛布・ブランケット

家族構成や家庭の状況によって必要なもの

女性	乳幼児	その他
生理用品	粉ミルク・液体ミルク	眼鏡・コンタクトレンズ
化粧品	哺乳瓶・洗浄剤	障害者手帳(コピー)
	離乳食	介護保険証(コピー)
	食べなれたおやつ	補聴器(予備の電池)
おむつ	お気に入りのおもちゃ	家族の写真
年金手帳(コピー)		
入れ歯・洗浄剤		

服装にも備えを



災害が起きたときには、ガラスが割れたり家具が破損したり室内でも素足で歩くのが危険な状況になることが想定されます。非常持出し袋と一緒に底の厚い靴なども枕元に準備しておきましょう。また避難の際の怪我を避けるために長袖の服や長ズボンを用意しておくことも有効です。服装にも気を付けて安全に避難できるよう備えましょう。

屋内の安全性を高める

地震で建物が倒壊しなくても、大きな家具の転倒、家電製品の落下、ガラスの飛散などにより大きなケガをしたり逃げ場をふさがれたりします。事前に家具などの固定や配置方法の工夫を行い、屋内の安全性を高めておきましょう。

<h3>収納に工夫を</h3> <ul style="list-style-type: none"> ●タンスや本棚などにもものを入れる場合は、重いものは下に、軽いものは上に収納するようにします。 ●本棚は隙間をブックエンドで固定するなど、なるべく空間を作らないようにしましょう。 	<h3>耐震金具を利用しよう</h3> <h4>転倒防止金具</h4> <p>壁・柱・鴨居と家具を固定するタイプと、天井などに固定するタイプがあります。家具や室内の状況によって使い分けましょう。</p>
<h3>照明器具の補強を</h3> <ul style="list-style-type: none"> ●吊り下げ式蛍光灯は、チェーンなどで止めておきましょう。 	<h4>重ね留め用金具</h4> <p>重ねた上下の家具を固定し、上の家具の落下を防ぎます。</p>
<h3>置き方に工夫を</h3> <ul style="list-style-type: none"> ●家具の下部の前方に転倒を防止するための板などを入れ、壁にもたれ気味にします。 ●出入口や通路には、なるべく荷物を置かないようにしましょう。 ●就寝場所に家具が倒れてこないように、配置の工夫を。 <p>地震のときに家具などが就寝部分に倒れたり、避難経路をふさぐ位置に配置されていませんか？</p>	<h4>扉・引き出し開放防止金具</h4> <p>地震発生時に、扉・引き出しが開かないように固定します。さらに、収納物の落下を防止するために棚板にふきんを敷いたり、木やアルミ棒による飛び出し防止枠をつけると安心です。</p> <p>手近な取り出しやすい所に運動靴などを用意しておく、災害時の足のケガを防止できます。</p>
<h3>ガラスの飛散防止を</h3> <ul style="list-style-type: none"> ●割れたガラスが飛び散るのを防ぐため、ガラス飛散防止フィルムを貼りましょう。 	

建物の被害を軽減する

建物の耐震性を確認するために、まずは耐震診断を受けましょう。安全でないと診断された場合は、適切な耐震改修を行うことで安全性を確保できます。専門家に相談してわが家にもっとも適した工事方法を選び、耐震改修を行いましょう。

<h3>軽い材料の屋根に変えることで耐震性を向上</h3> <p>軽量化については、耐震壁などの上部構造各部の補強とあわせ、全体で考えましょう。</p>	<h3>基礎の補強で建物の性能UP</h3> <p>無筋コンクリートは耐震性に乏しく、崩壊しやすいので、新たに鉄筋コンクリート造の基礎を抱き合わせましょう。</p> <p>ひびの入った基礎は樹脂などを注入して補強</p>
<h3>腐朽部分は交換しよう</h3> <p>劣化した部材を部分的に取り替えた場合、接合部が弱点にならないように補強しましょう。</p> <h3>接合部を補強する</h3> <p>山形金物・筋かいプレート・火打金物・制震金物などで補強することで地震の揺れによるひずみに耐えることができます。</p>	<h3>壁を補強する</h3> <p>耐力壁(※)の量を増やすと、建物は丈夫になります。壁の配置にかたよりがあると、地震で建物がねじれるおそれがあります。壁の少ない側に耐力壁を設ける補強をして、建物のバランスを良くします。</p> <h3>ひと部屋だけを耐震化することも有効</h3> <p>家全体の耐震改修が困難な場合、ひと部屋だけでも補強して安全空間を作っておくと、いざというときに逃げ込む場所として有効です。</p>

※耐力壁とは…構造用合板などを張り、想定される地震力に抵抗できる壁のこと(筋かいの入った壁も含む)

緊急地震速報を見聞きしたら…

「緊急地震速報」は、地震によって大きな被害が出ると予想される地域を対象に、揺れが始まる前にテレビ・ラジオ・防災行政無線や携帯電話(対応機種)などからみなさんに伝えられます。この「緊急地震速報」を見聞きしてから数秒～数十秒後に強い揺れが始まりますので、この間に身を守るための行動をとる必要があります。ただし、震源域に近い地域では「緊急地震速報」が強い揺れに間に合わないことがあります。

<h3>家庭では…</h3> <ul style="list-style-type: none"> ●頭を保護し、丈夫な机の下などに隠れる。 ●あわてて外へ飛び出さない。 ●無理に火を消そうとしない。 	<h3>屋外では…</h3> <ul style="list-style-type: none"> ●ブロック塀の倒壊等に注意する。 ●看板や割れたガラスの落下に注意し、丈夫なビルのそばであれば、ビルの中に避難する。 	<h3>人が大勢いる施設では…</h3> <ul style="list-style-type: none"> ●施設の係員の指示に従う。 ●落ち着いて行動する。 ●あわてて出口に走り出さない。
<h3>自動車運転中は…</h3> <ul style="list-style-type: none"> ●あわててブレーキをかけない。 ●ハザードランプを点灯し、揺れを感じたらゆっくり停止する。 	<h3>鉄道やバスでは…</h3> <ul style="list-style-type: none"> ●つり革や手すりにしっかりつかまる。 	<h3>エレベーターでは…</h3> <ul style="list-style-type: none"> ●最寄りの階で停止させ、すぐに降りる。
	<h3>山やがけ付近では…</h3> <ul style="list-style-type: none"> ●落石やがけ崩れに注意する。 	<h3>周囲の状況に応じて、あわてずに身の安全を確保しよう</h3>

地震が起きたとき、とるべき行動

地震発生時には、あわてずに、まず身の安全を確保しましょう。また、海岸付近で強い揺れを感じた場合は、すぐに津波が来襲することがありますので、津波警報や津波注意報の発表を待たず、ただちに高台などに避難してください。

地震発生! 自分の命は自分で守る

- 「頭を保護する」「大きな家具から離れる」「丈夫な机の下に隠れる」など、落ち着いて自分の身を守る。
- ドアや窓を開けて、逃げ道を確保する。
- 土砂災害の危険が予測される区域にいる場合はすぐ避難する。



1~5分 家族を守る

- 揺れが収まってから行動する。
- 家族の安全を確認する。
- 火の元を確認・初期消火。
- 足をケガしないように靴をはく。
- 非常持ち出し品等を手元に用意する。
- 余震に注意。



5~10分 地域を守る

- 隣近所の安全を確認。
- 安全な場所に移動してから、防災無線やラジオなどで情報を確認する。
- 電気のブレーカーを切る・ガスの元栓を閉める。
※復旧時の火災・事故を防ぐため
- 家屋倒壊などのおそれがあれば避難する。



10分~数時間後 避難生活 助け合いの心で…

- 協力して消火・救出活動。
- 水・食料は備蓄品でまかなう。
- 災害情報、被害情報の収集。
- 壊れた家には入らない。
- 引き続き余震に注意。
- 避難所では集団生活のルールを守る。



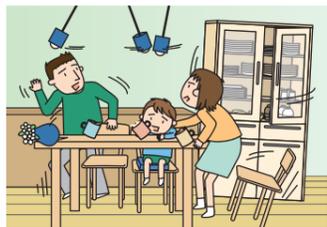
藤井寺市における地震被害想定

大阪府では、平成19年度に実施した内陸の断層帯による地震被害想定と、平成26年度に実施した南海トラフによる地震被害想定が公表されています。藤井寺市では、生駒断層帯による地震がもっとも大きく揺れると想定されています。

種別	マグニチュード	計測震度	全壊棟数	半壊棟数	死者数	負傷者数
生駒断層帯地震	7.3～7.7	6強～7	15,146棟	3,695棟	657人	1,212人
南海トラフ地震	9.0	6弱	94棟	1,214棟	3人	1,568人

震度と揺れの状況

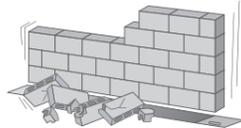
震度 5強



耐震性が高い 耐震性が低い



- 物につかまらなると歩くことが難しい。
- 棚にある食器類や本で落ちるものが増える。
- 固定していない家具が倒れることがある。
- 補強されていないブロック塀が崩れることがある。



震度 6弱



耐震性が高い 耐震性が低い



- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

震度 6強



耐震性が高い 耐震性が低い



- はわないと動くことができない。飛ばされることもある。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。
- 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。

震度 7



耐震性が高い 耐震性が低い



- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに増える。
- 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
- 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。

●地下水が十分に満たされている砂地盤に地震動が作用すると、砂粒子が液体のように動き、地下水に浮かんだ状態になることです。液状化した砂や地下水は、地盤の弱いところから地表に噴き出すことがあります。

●液状化した地盤では、その上に建っている建築物や構造物が大きな被害を受けます。

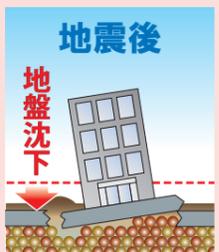
●地下埋設管などが大きな被害を受け、マンホールや管自体が地上に浮上してしまうことさえあります。



地震前
地下水位
砂粒子



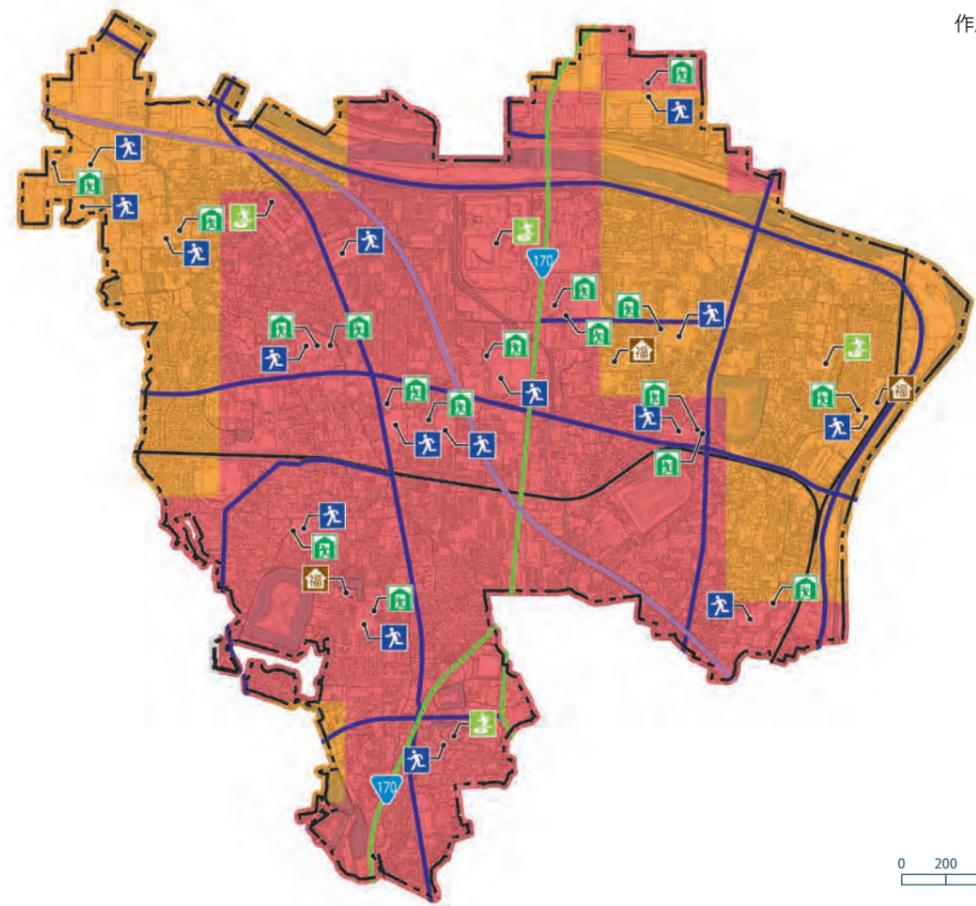
地震発生
液状化



地震後
地盤沈下
しばらくすると、バラバラになった砂の粒が沈んで、地面に水が出てくる。

震度分布(揺れやすさ)

作成主体:大阪府危機管理室



震度
震度6強
震度7

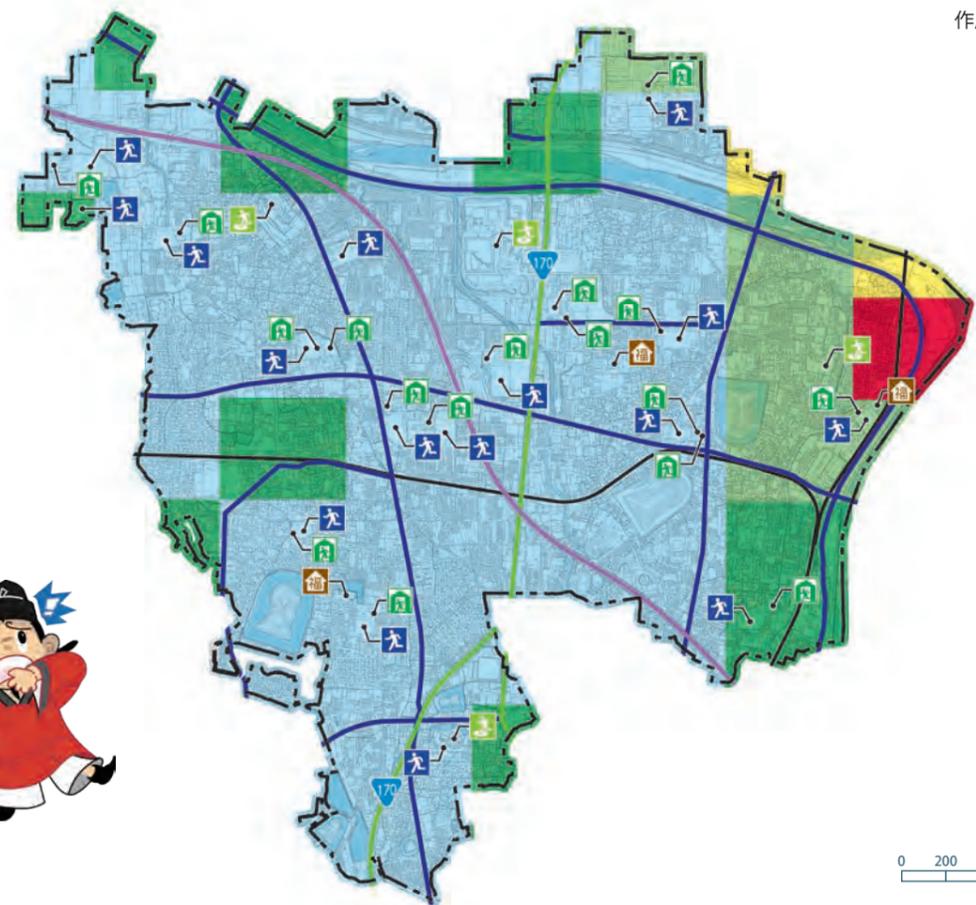
施設等

- 一時避難場所
- 二次避難施設(福祉避難所)
- 広域避難場所
- 指定避難所
- 高速道路
- 国道
- 主な道路
- 鉄道

0 200 400 600 800 1000m

液状化危険度

作成主体:大阪府危機管理室



液状化危険度
極めて低い
高い

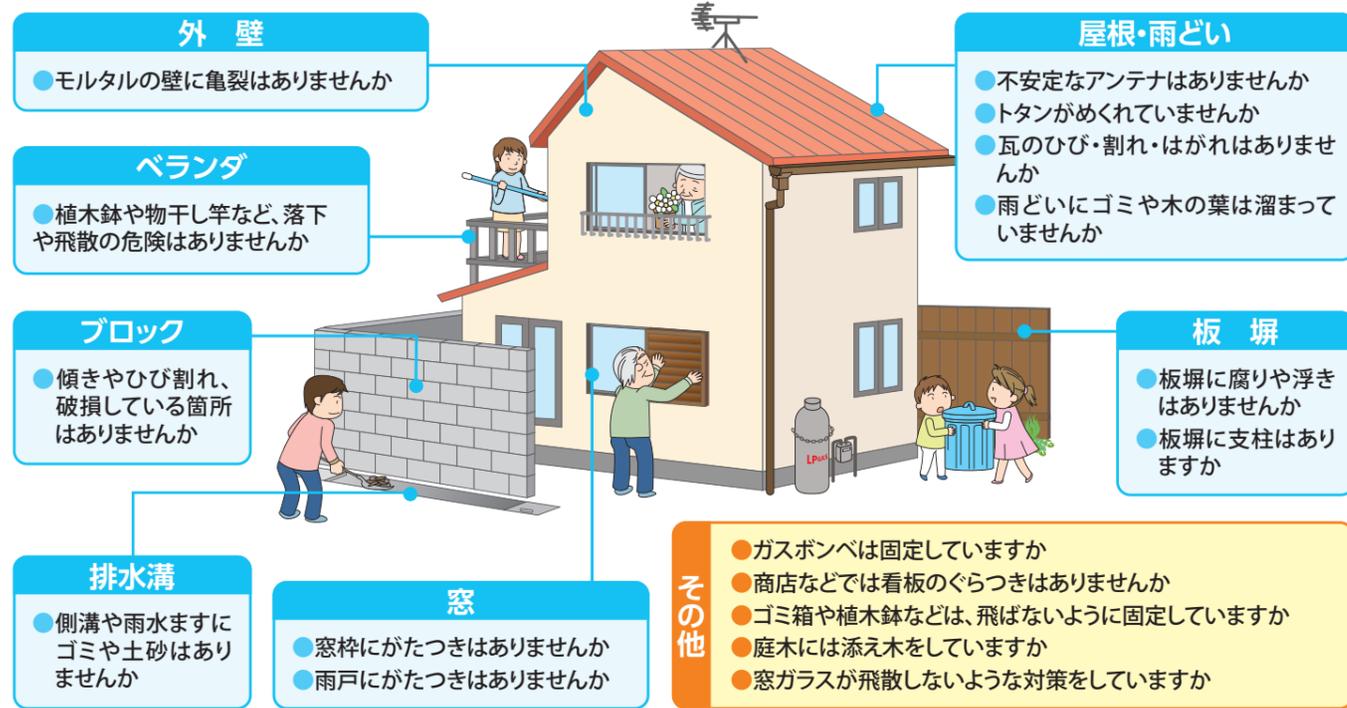
施設等

- 一時避難場所
- 二次避難施設(福祉避難所)
- 広域避難場所
- 指定避難所
- 高速道路
- 国道
- 主な道路
- 鉄道

0 200 400 600 800 1000m

風水害への備え

台風や大雨による被害を最小限にとどめるために、日頃から家屋やその周囲の点検・修理・補強を行い、十分な風水害対策を講じておきましょう。



風が強いとき・大雨のとき

毎年のように台風や集中豪雨によって浸水や土砂災害などの被害が発生しています。しかし、地震と違い、風水害はある程度事前に発生を予測することができます。危険が迫ったら早めに対応しましょう。

雨風が強まってきたら、まずテレビやラジオ、インターネット等で発表される気象庁からの注意報・警報・特別警報や、市区町村などからの避難に関する情報に注意しましょう。不要不急の外出は控え、危険な場所には近づかないようにしましょう。

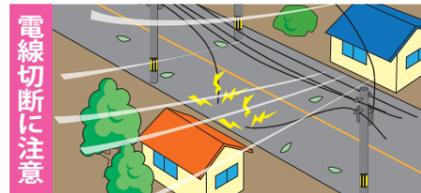
■風が強いとき



- 室内では
- 風圧や飛来物で、窓ガラスが割れ、破片が吹き込む危険があります。
- 外側から板でふさいだり、内側からガムテープを×印に貼り、カーテンを引いておきましょう。



- 路上では
- 看板が飛んだり、街路樹が倒れたりする危険があるので、近くの頑丈な建物の中に避難しましょう。



- 電線切断に注意
- 電線が切れたり、瓦や物が飛んでくる危険があるので、無理に避難せず屋内にとどまりましょう。

■大雨のとき



- 室内では
- 床下、床上浸水の危険があります。家財道具や貴重品を高い場所に移動しておきましょう。
- 地下には避難しないようにしましょう。



- 車の運転中は
- 豪雨で視界が悪くなると非常に危険です。あせらずに高台に移動しましょう。
- 浸水でエンストしたときは、無理に再始動させるとエンジンを傷めてしまいます。



- 河原では
- 急な増水や土砂災害の危険があるので、河川敷から堤防の外に移動しましょう。
- 雨が降っていないくても、サイレンなどの警報が聞こえたら、すぐ避難しましょう。

雨の強さと降り方(1時間雨量)

10~20mm未満 やや強い雨 地面一面に水たまりができ、話し声が聞き取りにくくなります。長雨になりそうなら警戒が必要です。	20~30mm未満 強い雨 土砂降りの雨。傘をさしても濡れてしまうほどの雨です。小河川の氾濫や、がけ崩れの心配もあります。	30~50mm未満 激しい雨 山崩れ、がけ崩れが起こりやすくなります。道路規制も行われます。	50~80mm未満 非常に激しい雨 滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。屋内で寝ている人の半数くらいが気づくほどの激しい雨です。	80mm以上 猛烈な雨 息苦しくなるような圧迫感があります。大雨による大規模な災害が発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要です。
---	--	---	---	--

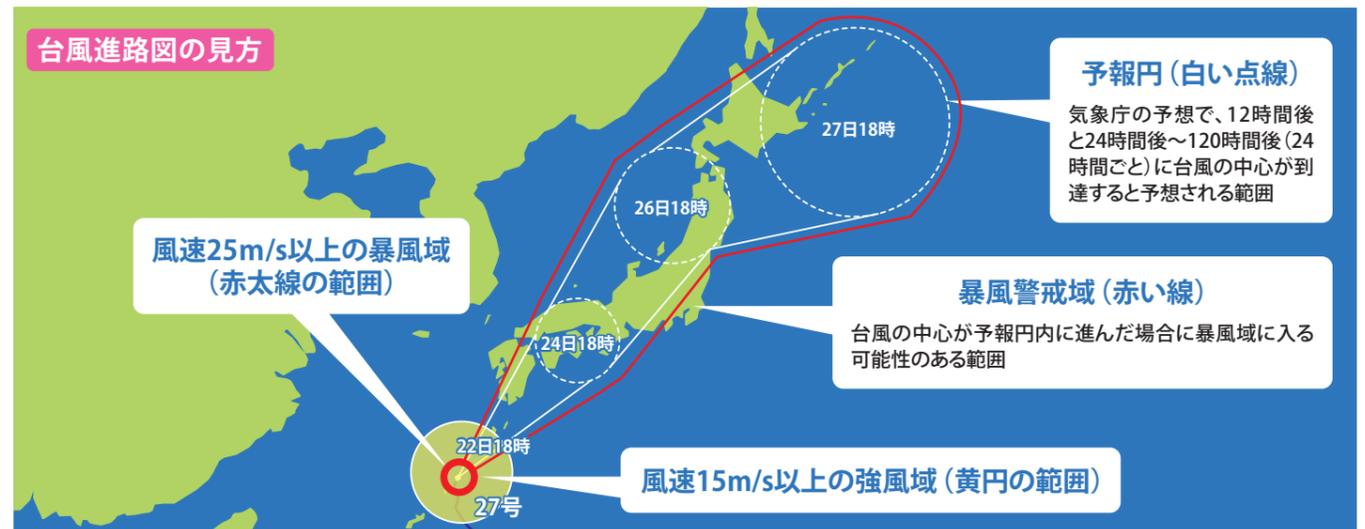
大雨・洪水に関する注意報・警報

次のような場合に、気象庁から「注意報」「警報」「特別警報」が発表されます。

大雨・洪水注意報 災害が発生するおそれがある 大雨 大雨により、浸水災害や土砂災害などが発生するおそれがあると予想したときに発表。 洪水 大雨、長雨、融雪などにより、河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による災害が発生するおそれがあると予想したときに発表。	大雨・洪水警報 重大な災害が発生するおそれがある 大雨 大雨により、重大な浸水災害や重大な土砂災害などが発生するおそれがあると予想したときに発表。 洪水 大雨、長雨、融雪などにより、河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表。	大雨特別警報 警報よりもはるかに高い危険度 大雨 台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨になると予想したときに発表。 ※「洪水」は、全国約400の河川において指定河川洪水予報を発表しているため、特別警報の設定はありません。
---	--	--

台風が近づいたら 気象情報に注意

台風はその襲来時期や規模、被害の程度などの予想が可能のため、事前の対策次第で被害を軽減することができます。台風が近づいたら、気象情報に十分注意し、適切に対応しましょう。



避難の種類(立退き避難・屋内安全確保と緊急安全確保)

水害や土砂災害の避難行動は、ためらわず災害リスクのない安全な場所へ早めに「立退き避難」することが基本です。また、家屋倒壊等氾濫想定区域に含まれておらず、浸水しない階がある場合は、上層階に留まる「屋内安全確保」により身の安全を確保することも有効です。ただし、水や食料は十分用意しておいてください。立退き避難を行う必要があるにもかかわらず、適切なタイミングで避難できなかった場合などは、少しでも浸水しにくい高い場所やがけから離れた場所に避難し、身の安全を可能な限り確保する「緊急安全確保」を行ってください。

気象情報や避難情報に注意し、早めの避難を心がけましょう。

計画的な避難行動

立退き避難

行政が指定した避難所へ



安全な親戚・知人宅へ



安全なホテル・旅館へ



屋内安全確保

ハザードマップで以下の「3つの条件」を確認し自宅にいても大丈夫かを確認する必要があります。
①家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない
②浸水深よりも高い場所にいる
③水が引くまで我慢できる
※土砂災害の危険がある区域では立退き避難が原則です。



避難所に行くことだけが“避難”ではありません。状況に応じて安全なところに避難しましょう。

緊急的な避難行動

緊急安全確保

- 逃げ遅れた場合の行動です。
- 身の安全を確保できるとは限りません。

避難のポイント

いざという時のために、日頃から避難に必要なものを整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。また、災害の危険性が想定された場合には、情報を入手して、早めの避難を心がけましょう。



状況により、すばやく避難しましょう。

避難情報などが発表されていなくても、状況などから判断し、自主的に避難しましょう。



浸水時、自動車での避難は危険

普通自動車は約30cmの浸水で走行困難になります。浸水時、自動車での避難は危険です。



浸水時に長靴は厳禁

避難には運動靴が最適です。長靴は水が入ると歩けなくなります。また、素足での避難は大変危険です。



家族には連絡メモを残そう

外出中の家族には、「どこどこへ避難する」といったようなメモを残しておくといいでしょう。



防災メモを持とう

高齢者や子どもは、事前に住所、氏名、連絡先などを記載したメモを用意し、身につけて避難しましょう。



声のかけ合いと助け合い

子どもや高齢者の避難には誰かの手助けが必要です。常に声をかけ合い、助け合う地域の輪、人の和で、みんなの安全を守りましょう。



持出し品は最小限に

非常持出し品はリュックサックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。
詳しくは8ページへ

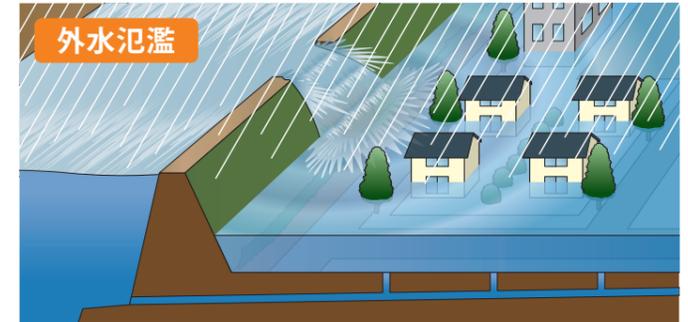


安全なルートで避難

避難場所への経路は、川べりや地下歩道などは避け、出来るだけ安全な広い道を選びましょう。

内水氾濫と外水氾濫

水害には、降った雨が水路や下水道などで排水しきれなくなるにより起こる氾濫(内水氾濫)と、川の堤防が壊れたり、水があふれたりして発生する氾濫(外水氾濫)があります。まずは、水害の発生するしくみを理解して、避難場所等まで安全に避難できるよう経路を確認しておきましょう。



その場で雨が降っていなくても、川の上流で降った大雨により、下流で氾濫が発生することがあります。

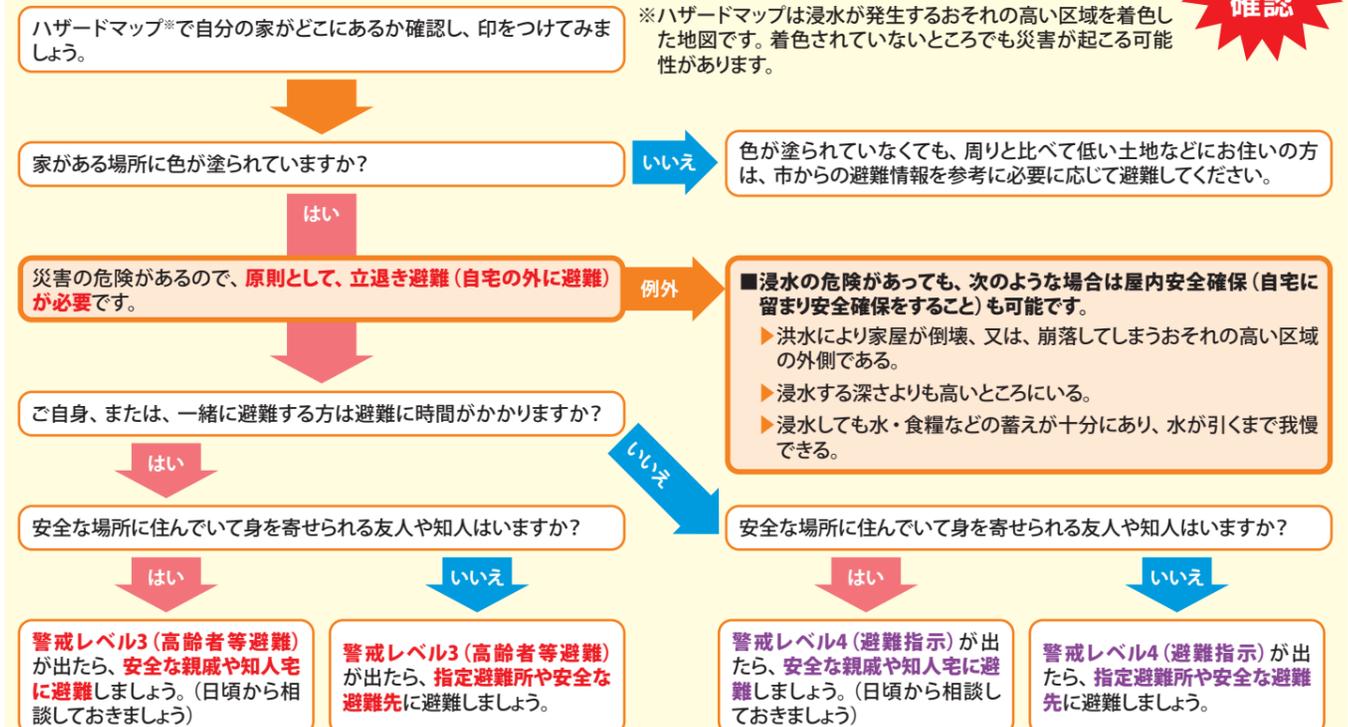
雨水ポンプ場について

- 藤井寺市では、大雨時に落堀川に流入してくる大量の雨水をポンプ場に引き入れてごみを取り除き、大型ポンプで強制的に大和川へ排水しています。
- 大雨によって大和川の水位が高くなると、堤防の決壊を防ぐため、やむを得ずポンプの運転を止めることがあります。これにより、内水氾濫や落堀川の氾濫が発生するおそれがあります。

避難行動判定フローを確認しましょう

「避難行動判定フロー」をハザードマップとあわせて確認し、居住する地域の災害リスクや住宅の条件等を考慮したうえでとるべき避難行動や適切な避難先を確認しておきましょう。
ハザードマップは21ページ以降に掲載

■避難行動判定フロー あなたがとるべき行動は?



平時に確認

マイ・タイムラインを作成しましょう

タイムラインとは、災害が発生するまでに、「いつ」「誰が」「何を」するか、という行動計画を事前に整理しておくことをいいます。

21ページ以降の洪水ハザードマップと内水ハザードマップを確認し、自宅で注意しなければならない災害リスクを把握してください。また、どこに避難するかなどの他にも、声かけをしなければいけない人や、遠くにお住まいの家族などがある場合は、その方の状況なども確認してください。

避難情報や気象情報などが発表された際に、警戒レベルにあわせてどのように行動する必要があるか、事前に整理し、一人ひとりが行動計画を決めておきましょう。

■記入例

マイ・タイムラインは、自分がどのように行動するかを検討し、自分に必要な行動を自由に記入してください。

時間の目安	気象・市からの情報	タイムラインのポイント	マイ・タイムライン
雨風が強くなる前に	三日前 ■台風予報 台風に関する気象情報(随時)	・テレビの天気予報に注意 ・家族全員の今後の予定を確認(キャンセルも視野に) ・マイ・タイムラインを確認 ・防災グッズを確認	・非常持ち出し品と備蓄品の在庫の確認 ・携帯電話の充電器の確認
	二日前 ■気象注意報	・家の周りに飛ばされやすいものがないか確認 ・携帯電話の充電 ・ハザードマップで避難場	・植木鉢の取り込み ・家族に電話 ・避難経路の再確認

避難先や家族の連絡先などをまとめておきましょう

どこに避難する?



■第1候補・避難にかかる時間

■第2候補・避難にかかる時間

誰に声をかける? 誰と逃げる?



■声をかける人 ※近所の人や別居の家族など

■支援者連絡先 ※手助けが必要な人は支援者を決めましょう

家族の名前	血液型	会社・学校の電話番号	携帯電話番号

マイ・タイムライン

台風の接近を例に、各々のとる必要のある行動を「マイ・タイムライン」欄に記入しましょう。

時間の目安	気象・市からの情報	タイムラインのポイント	マイ・タイムライン
雨風が強くなる前に	三日前 ■台風予報 台風に関する気象情報(随時)	・テレビの天気予報に注意 ・家族全員の今後の予定を確認(キャンセルも視野に) ・マイ・タイムラインを確認 ・防災グッズを確認 ・家の周りに飛ばされやすいものがないか確認 ・携帯電話の充電 ・ハザードマップで避難場所・ルートを確認	
	二日前 ■気象注意報		
避難行動を開始する	一日前 ■気象警報 避難所の開設 ▶警戒レベル3 高齢者等避難を発令	・避難の準備 ・通行止め情報がないかインターネット等で確認 ・災害リスクが高い地域は避難開始 ・移動に時間のかかる人は、避難開始	
	半日前 ▶警戒レベル4 避難指示を発令	・川の水位や土砂災害警戒レベルをインターネットで情報収集 ・避難開始	
	■大雨特別警報		
身の安全を確保	6時間前 ■台風の接近	・避難完了 ・逃げ遅れた場合は二階にあがるなど命を守る行動に徹する	
	3時間前 ■台風の最接近		
	0時間 ▶警戒レベル5 川の氾濫などの災害が発生		

■…気象情報 ▶…市からの情報

マイマップを作ろう

この防災ガイドブックは、住民の皆様が防災に関する情報を提供し、事前の備えに役立てていただくことを目的として作成しています。災害に対しては日頃からの備えが重要です。各家庭や地域で次のようなことを確認し、避難場所や避難経路等をマップに記入してください。避難先を検討する際は、41・42ページも参考にしてください。

ステップ 1

■あなたの家はどこですか？

まず、ハザードマップであなたの家を探して、予測されている被害の有無・程度（浸水範囲に入っているか、浸水深は何mか、など）を確認しましょう。

ステップ 2

■あなたの避難先はどこですか？

次に、目標とする避難先を確認して、マークを記入し、避難先までの経路を考えてみましょう。浸水範囲にかかる道路や橋、地下道、狭い道路は避けるコースを設定しましょう。

ステップ 3

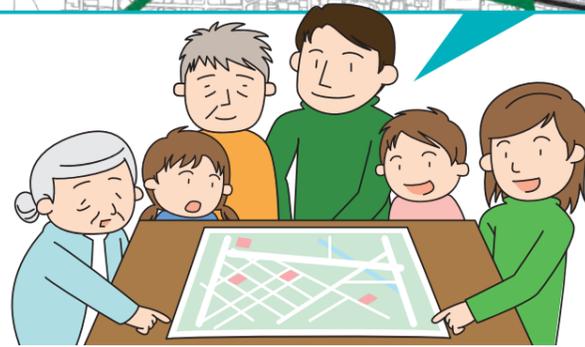
■実際に避難経路を歩いてみよう

家族みんなで避難先まで歩いてみましょう。ハザードマップを持って危険なところなどをチェックしながら歩き、安全で避難しやすい経路や所要時間を確認しましょう。

ステップ 4

■ハザードマップに書き込もう

安全に避難所まで行けるよう、わが家の避難地図（マイマップ）をつくりましょう。記入例を参考に、ステップ③で調べたことを書き込んで、一番安全な経路を確認しましょう。



まるごとまちごとハザードマップ事業

大和川や石川が氾濫した場合に想定される最大の浸水深を記した標識を“まちなか”に設置する取組です。大和川河川事務所と大阪府の協力により、一定以上の浸水が想定され、設置を希望する19地区（38か所）に標識（図①参照）を設置しています。また、その後の取組として、浸水想定区域内にある市の広報板80か所に、浸水深を記した標識（図②参照）を設置しました。

“まちなか”でこの標識を見かけた際には、浸水リスクを身近に感じ、水害時の避難などについて考えてみてください。



図① 19地区（38か所）に設置の標識



図② 市広報板80か所に設置の標識

洪水ハザードマップ

次のページから掲載する洪水ハザードマップは、水防法の規定に基づき想定し得る最大規模の降雨により河川の氾濫があった場合に想定される浸水エリアと最大となる浸水深と想定される浸水継続時間を地図上に示したものです。この防災ガイドブックには、各河川の浸水想定区域を重ね合わせた洪水ハザードマップと河川ごとの浸水想定区域及び浸水継続時間を示すマップを掲載しています。

なお、想定を超える降雨や、支川の氾濫は考慮していないため、着色がない箇所でも浸水する場合や浸水深が実際と異なる場合がありますので、注意してください。

各河川の解析条件等は次のとおりです。

- ▶ 大和川 12時間総雨量316mm
(国土交通省近畿地方整備局 大和川河川事務所 平成28年)
- ▶ 石川
【本川】24時間総雨量724mm、1時間最大雨量195.5mm
【支川】24時間総雨量1,008mm、1時間最大雨量111～146mm
(大阪府富田林土木事務所 令和2年)
- ▶ 東除川・落堀川・大水川
24時間総雨量904.1mm、1時間最大雨量102.5mm
(大阪府富田林土木事務所 令和元年)
- ▶ 寝屋川流域 1時間雨量138.1mm
(大阪府寝屋川水系改修工営所 平成31年)



水害発生のおそれがある場合に早期の立退き避難が必要な地域

家屋が倒壊するような氾濫や河岸の侵食が発生するおそれのある区域や、家屋の上の階も水没するおそれのある区域、長時間浸水する区域は、早期の立退き避難が必要な区域です。このような区域では、屋内に留まることにより直ちに命に危険がおよぶおそれがあるため、災害時は避難情報などに従って安全な場所に速やかに避難してください。

指定区域の種類		発生する現象と避難行動	
早期の立退き避難が必要な区域	家屋倒壊等 氾濫 想定区域		河川が氾濫した時に想定される水の流れの速さや深さから木造家屋の倒壊のおそれがあり、早期の立退きが必要。
	家屋が水没する おそれのある区域 (浸水深3m以上)		上の階でも浸水するおそれがあることから早期の立退き避難が必要。
	浸水継続時間が 24時間以上続く区域		浸水が長期にわたることが想定されることから早期の立退き避難が必要。浸水深が浅い場合や高層階の居住でも、生活に支障が生じる場合がある。
	氾濫流 ハザードマップ凡例		
	河岸侵食 ハザードマップ凡例		

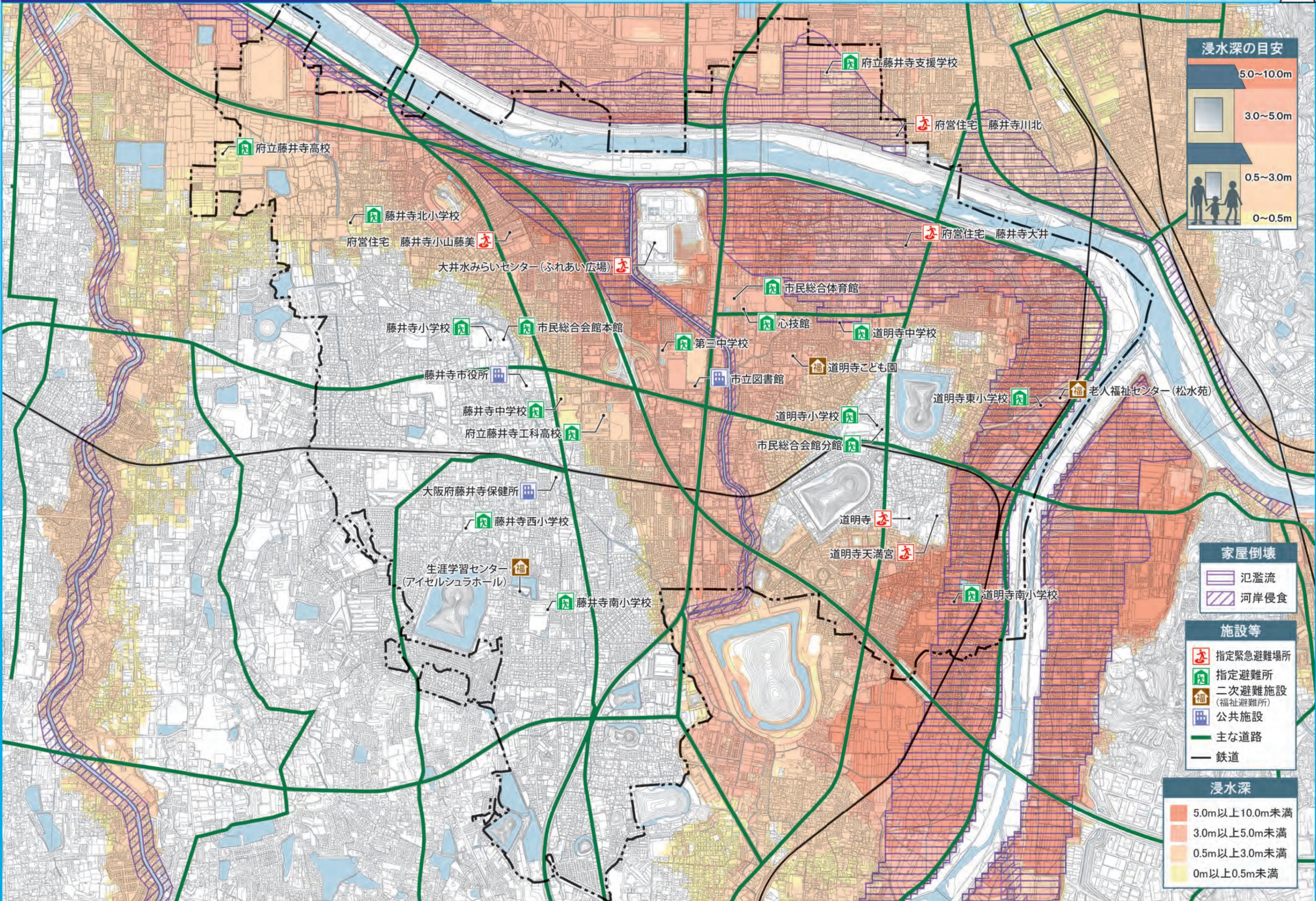
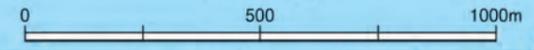
浸水継続時間

洪水ハザードマップに示した浸水想定区域の浸水が発生した場合に、0.5m以上の浸水が継続すると想定される時間を示しています。

浸水が継続している間はライフラインも止まるおそれがありますので、備蓄品（7ページ参照）を用意しておくか、早めに避難するようにしてください。

洪水ハザードマップ(浸水想定区域) 市全域

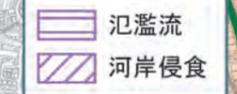
1:15,000



浸水深の目安



家屋倒壊



施設等



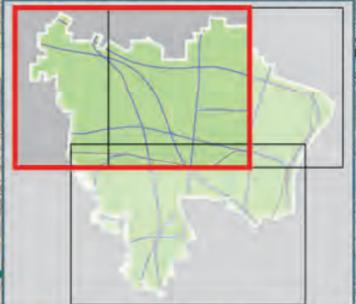
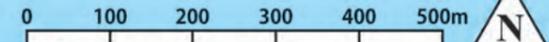
浸水深



洪水ハザードマップ

洪水ハザードマップ

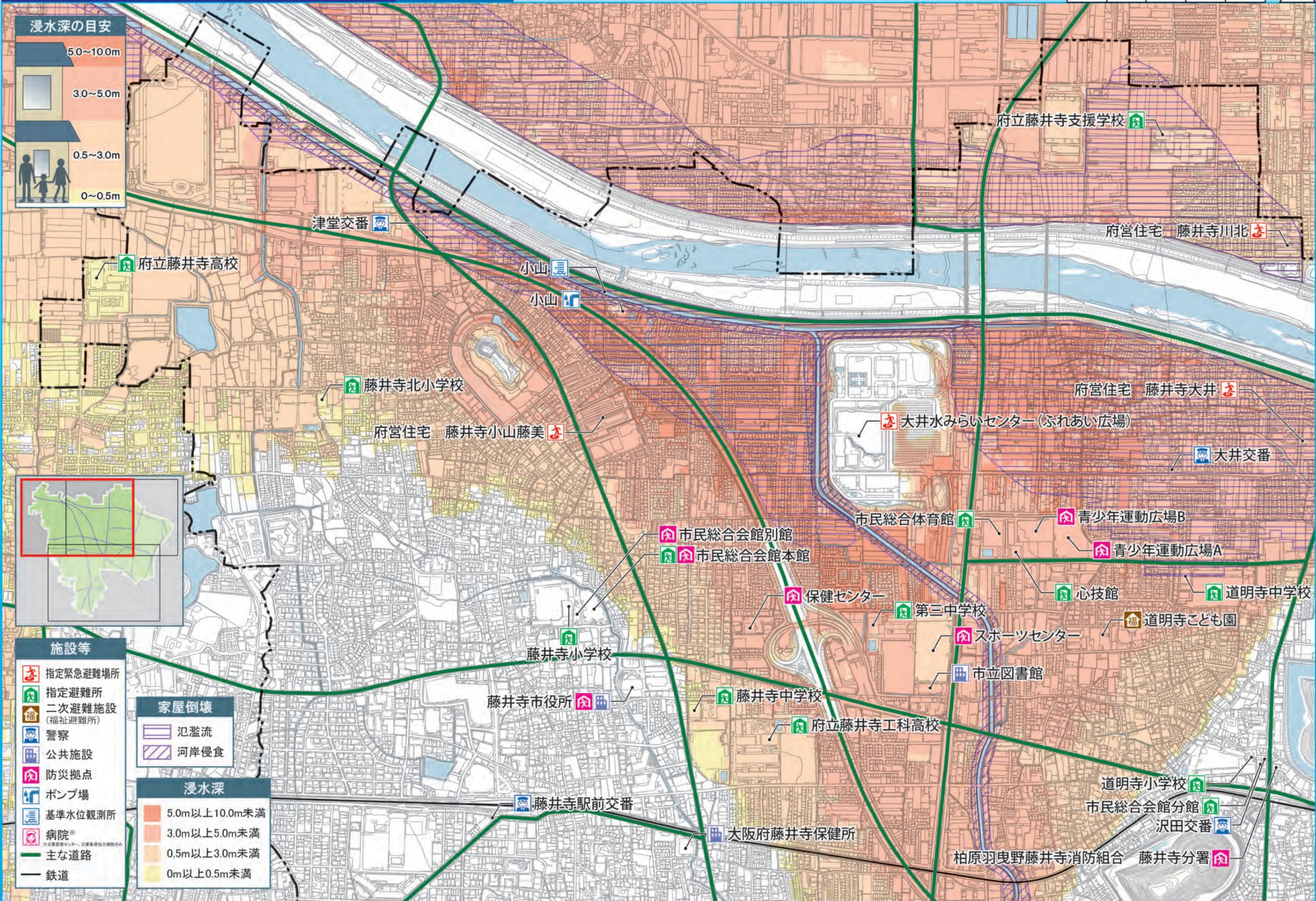
洪水ハザードマップ(浸水想定区域) 市域西部



- ### 施設等
- 指定緊急避難場所
 - 指定避難所
 - 二次避難施設 (福祉避難所)
 - 警察
 - 公共施設
 - 防災拠点
 - ポンプ場
 - 基準水位観測所
 - 病院*
 - 主な道路
 - 鉄道

- ### 家屋倒壊
- 氾濫流
 - 河岸侵食

- ### 浸水深
- 5.0m以上10.0m未満
 - 3.0m以上5.0m未満
 - 0.5m以上3.0m未満
 - 0m以上0.5m未満



洪水ハザードマップ

洪水ハザードマップ

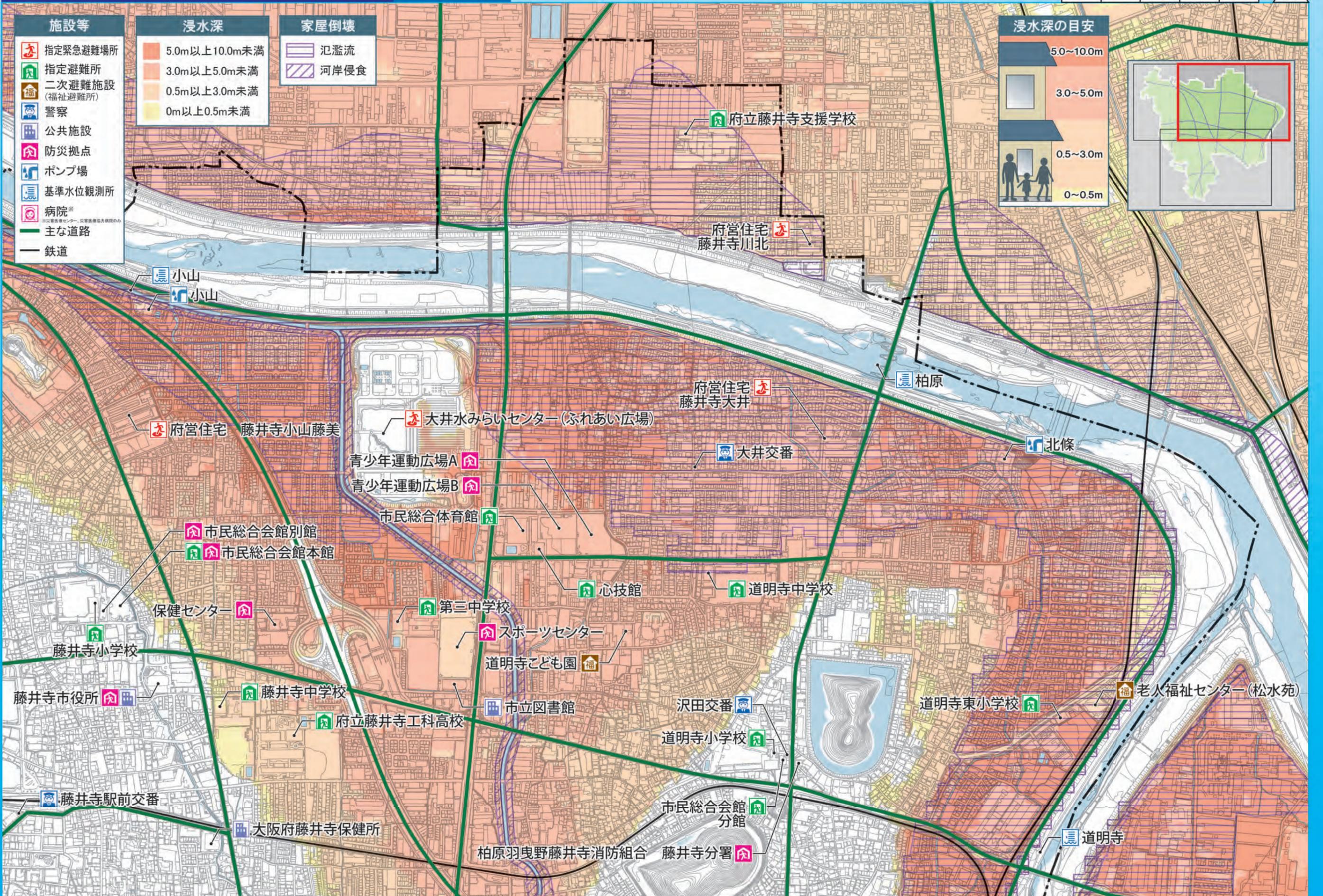
洪水ハザードマップ(浸水想定区域) 市域東部



施設等	浸水深	家屋倒壊
指定緊急避難場所	5.0m以上10.0m未満	氾濫流
指定避難所	3.0m以上5.0m未満	河岸侵食
二次避難施設 (福祉避難所)	0.5m以上3.0m未満	
警察	0m以上0.5m未満	
公共施設		
防災拠点		
ポンプ場		
基準水位観測所		
病院*		
主な道路		
鉄道		

浸水深の目安

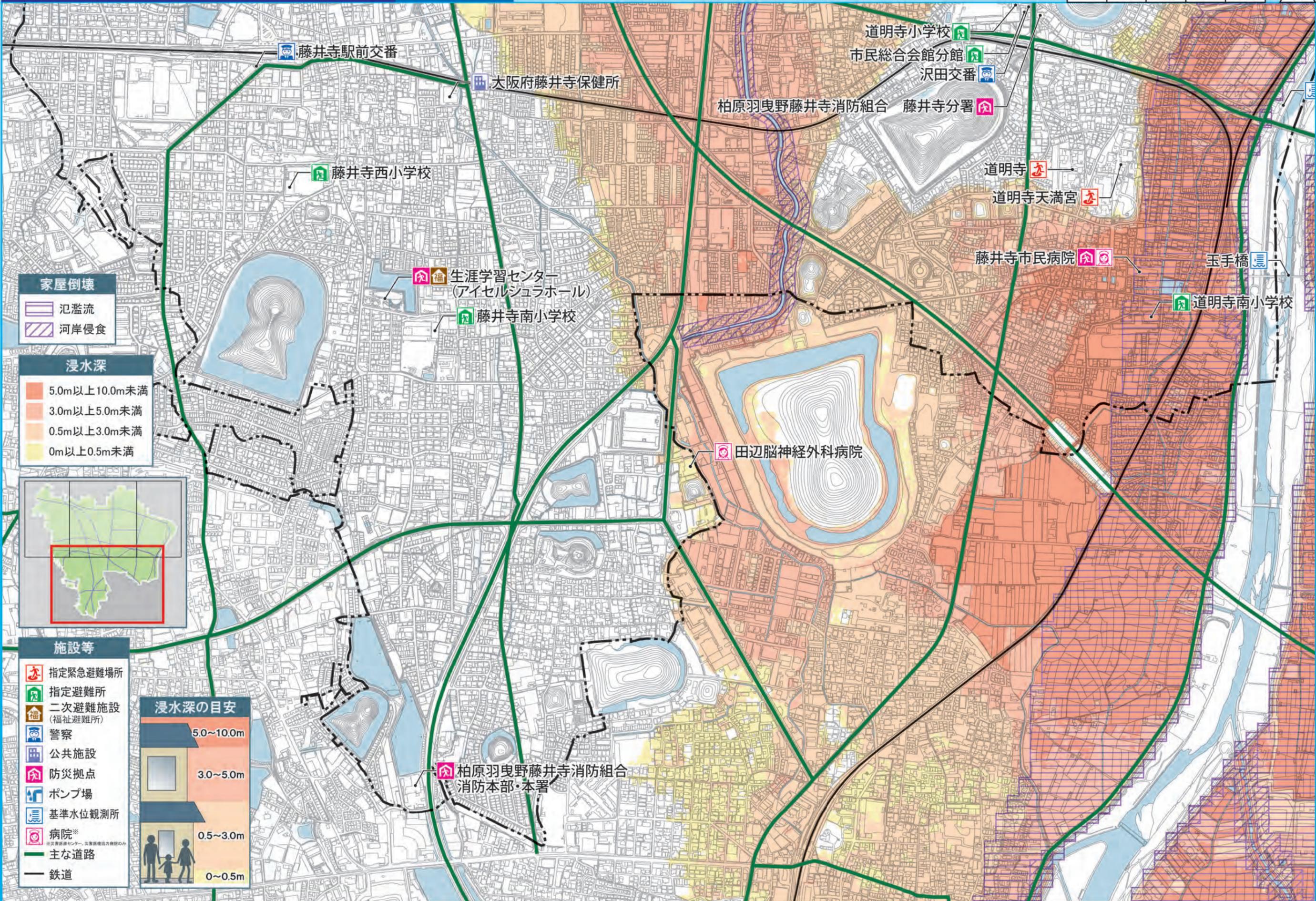
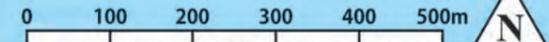
	5.0~10.0m
	3.0~5.0m
	0.5~3.0m
	0~0.5m



洪水ハザードマップ

洪水ハザードマップ

洪水ハザードマップ(浸水想定区域) 市域南部



家屋倒壊

- 氾濫流
- 河岸侵食

浸水深

- 5.0m以上10.0m未満
- 3.0m以上5.0m未満
- 0.5m以上3.0m未満
- 0m以上0.5m未満



施設等

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 二次避難施設 (福祉避難所)
- 警察
- 公共施設
- 防災拠点
- ポンプ場
- 基準水位観測所
- 病院*
- 主な道路
- 鉄道

浸水深の目安

- 5.0~10.0m
- 3.0~5.0m
- 0.5~3.0m
- 0~0.5m

藤井寺駅前交番

大阪府藤井寺保健所

藤井寺西小学校

生涯学習センター (アイセルシュラホール)

藤井寺南小学校

柏原羽曳野藤井寺消防組合

藤井寺分署

道明寺小学校

市民総合会館分館

沢田交番

道明寺

道明寺天満宮

藤井寺市民病院

玉手橋

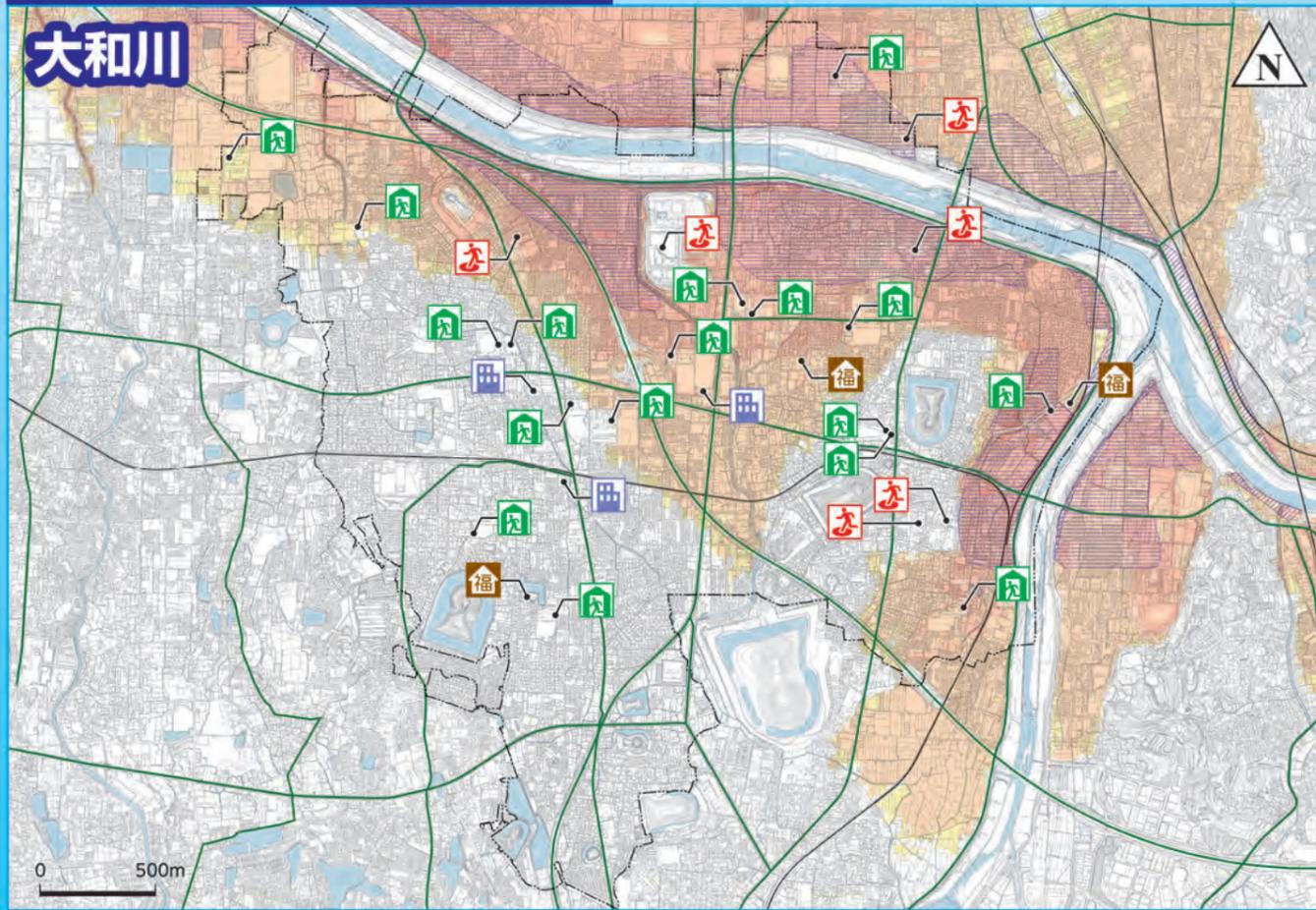
道明寺南小学校

田辺脳神経外科病院

柏原羽曳野藤井寺消防組合 消防本部・本署

河川ごとの浸水想定区域

大和川



施設等

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 二次避難施設 (福祉避難所)
- 公共施設
- 主な道路
- 鉄道

家屋倒壊

- 氾濫流
- 河岸侵食

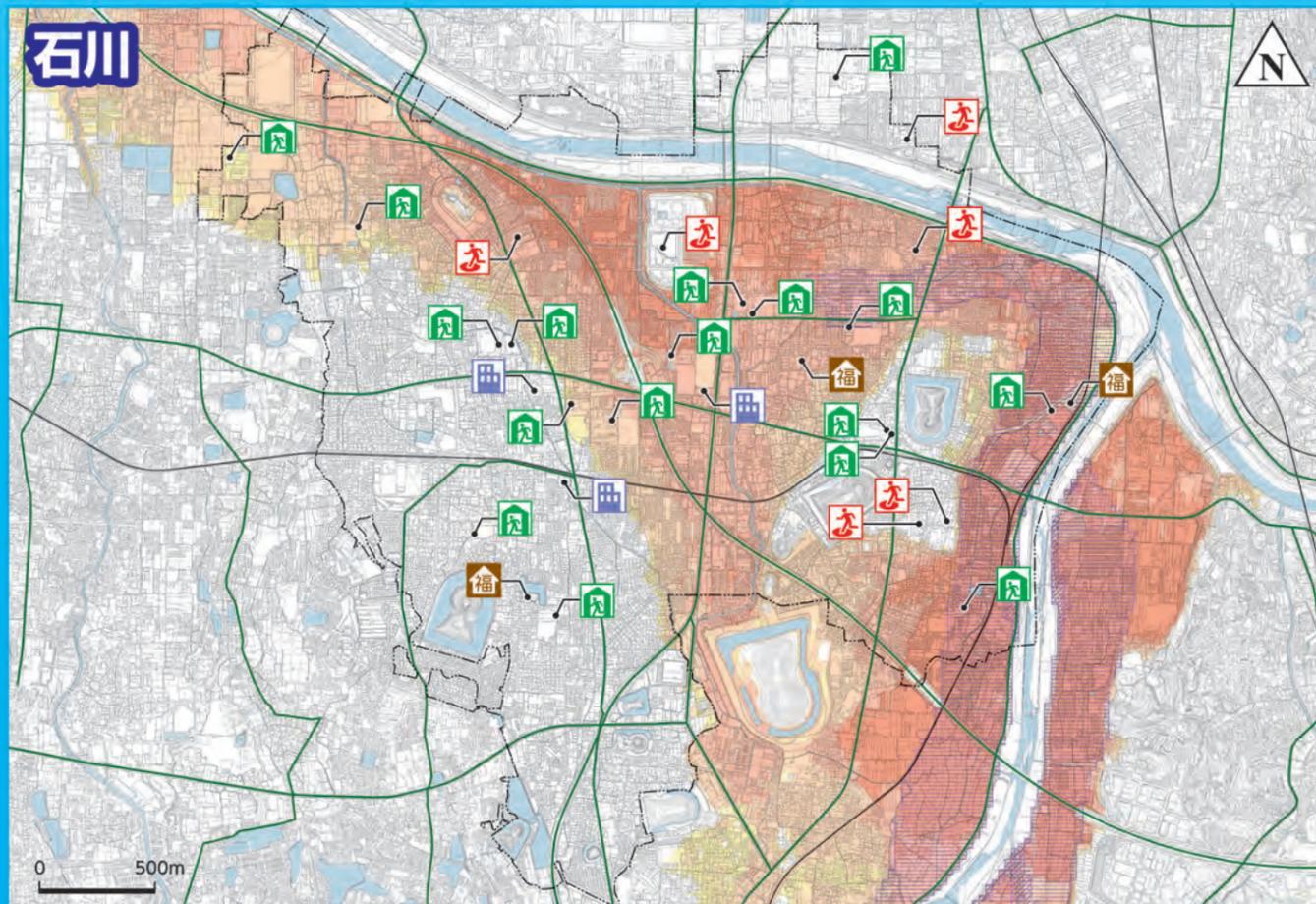
浸水深

- 5.0m以上10.0m未満
- 3.0m以上5.0m未満
- 0.5m以上3.0m未満
- 0m以上0.5m未満

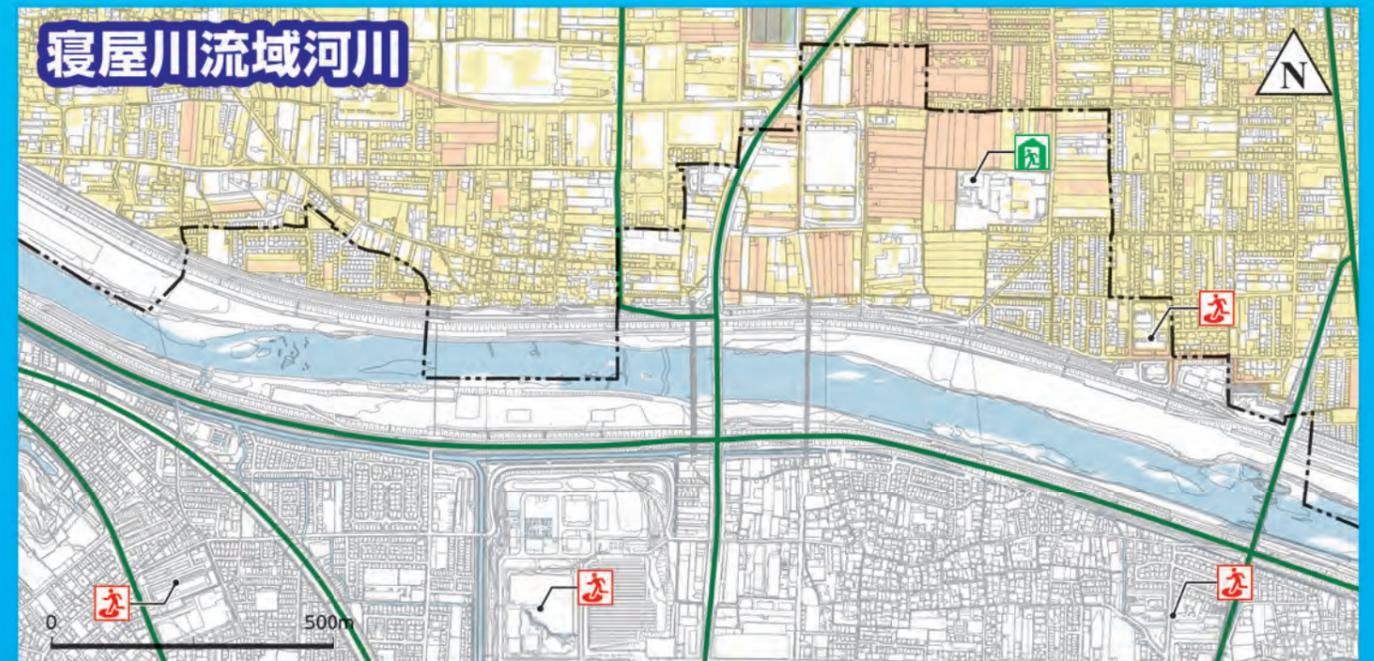
東除川・落堀川・大水川



石川



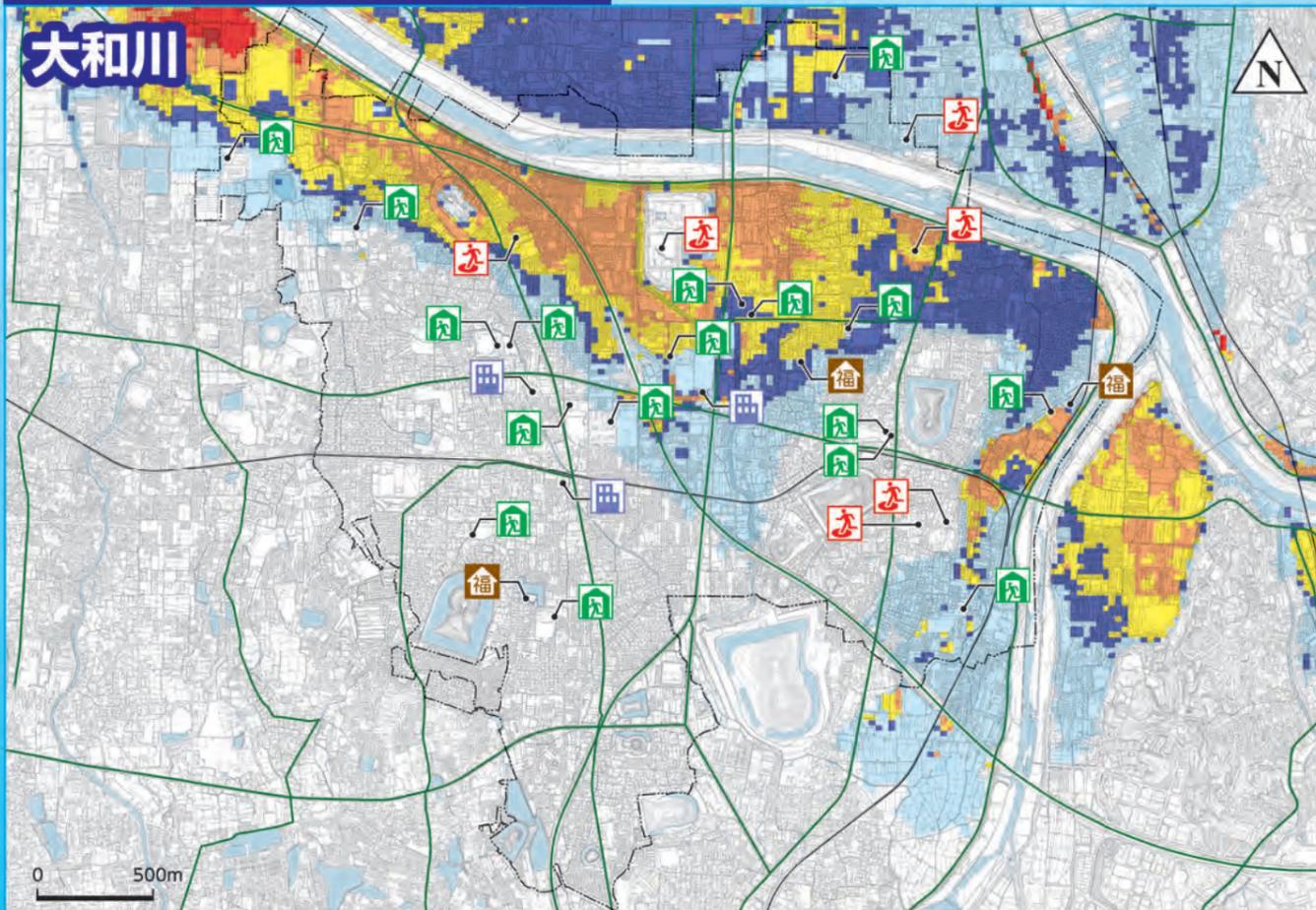
寝屋川流域河川



洪水ハザードマップ

洪水ハザードマップ

河川ごとの浸水継続時間

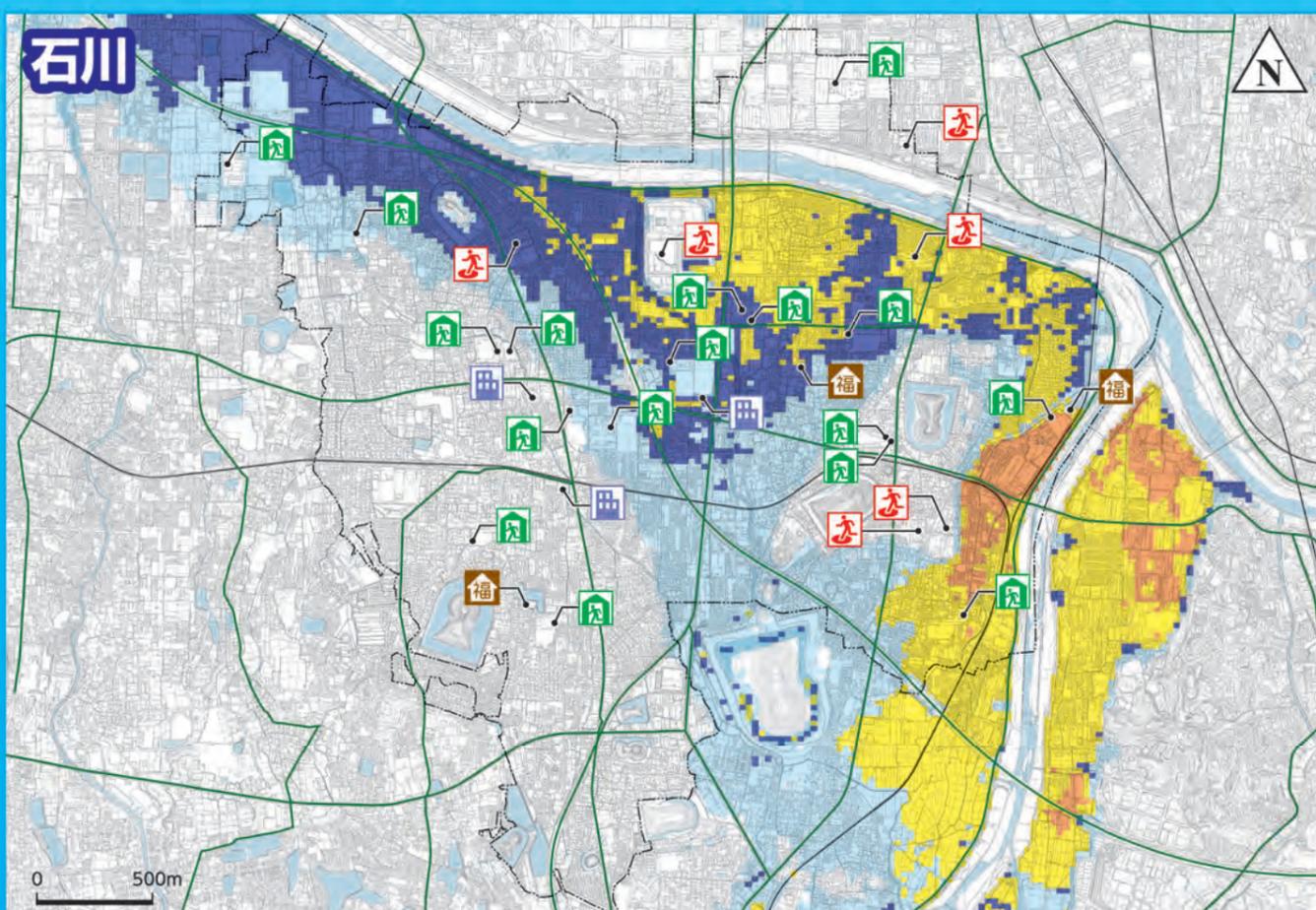
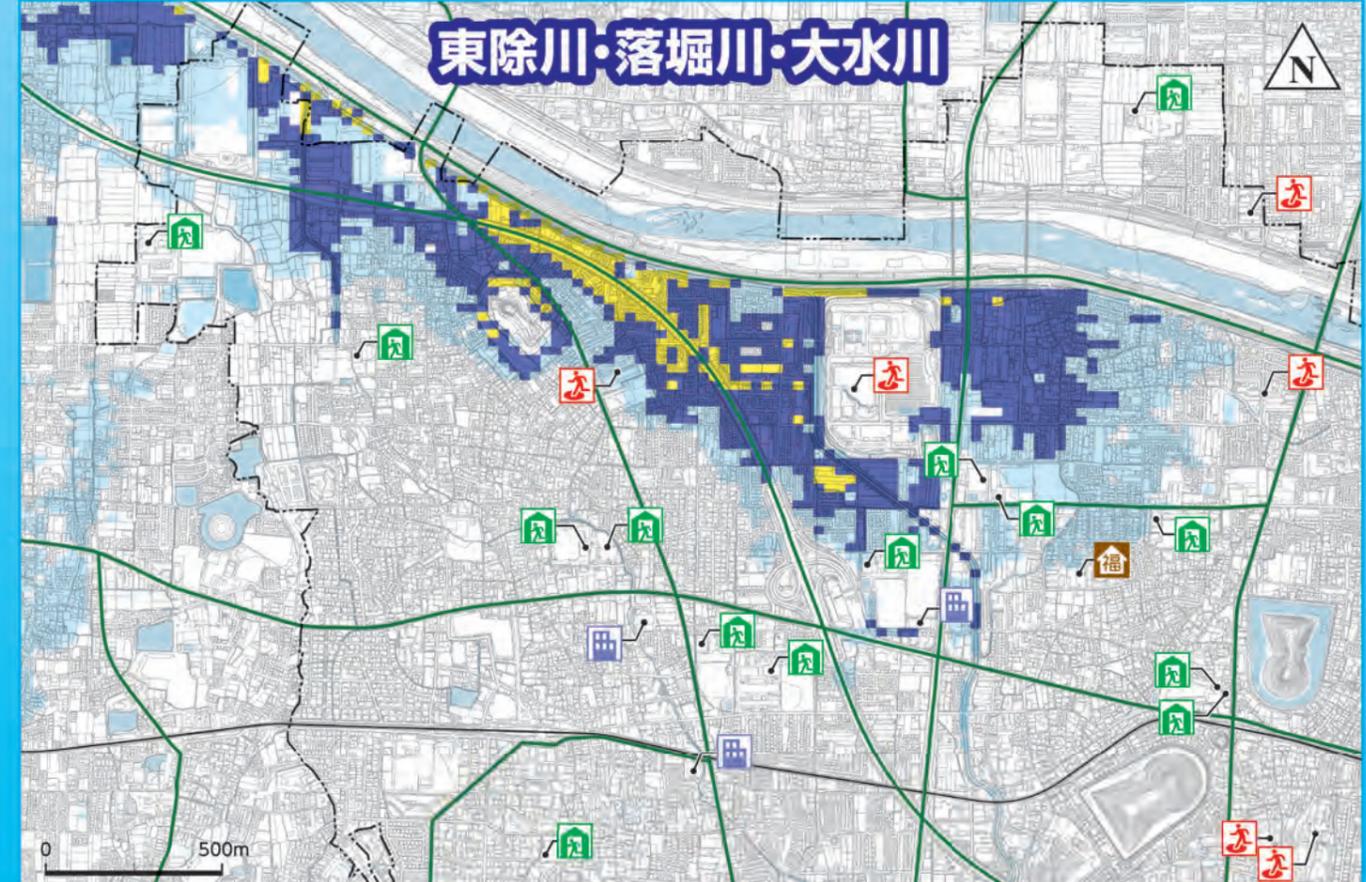


施設等

- 指定緊急避難場所 (Red house icon)
- 指定避難所 (Green house icon)
- 二次避難施設 (福祉避難所) (Brown house icon)
- 公共施設 (Blue house icon)
- 主な道路 (Green line)
- 鉄道 (Black line)

浸水継続時間

- 1週間～2週間未満の区域 (Red)
- 3日～1週間未満の区域 (Orange)
- 1日～3日未満の区域 (Yellow)
- 12時間～1日未満の区域 (Dark Blue)
- 12時間未満の区域 (Light Blue)



内水ハザードマップ

次のページから掲載する内水ハザードマップは、降雨により水路や管路から排水しきれなくなった水があふれることにより発生する内水氾濫の浸水エリアのうち、最大で5mm以上の浸水が想定されるエリアとその浸水深を地図上に示したものです。

なお、想定を超える降雨や外水氾濫（河川の洪水）は考慮していないため、着色がない箇所でも浸水する場合や浸水深が実際と異なる場合があるので注意してください。

また、浸水エリアの解析は600㎡程度の範囲を1つの標高として行っています。そのため部分的に標高が低い箇所においては、図示した浸水深より深くなるなど多少の誤差があることにご留意ください。

解析条件等は次のとおりです。

1日降水量125mm、時間最大降水量91mm（気象庁枚方観測所 2012年8月14日）
 <<藤井寺市下水道工務課 平成26年3月>>

洪水ハザードマップは20ページから

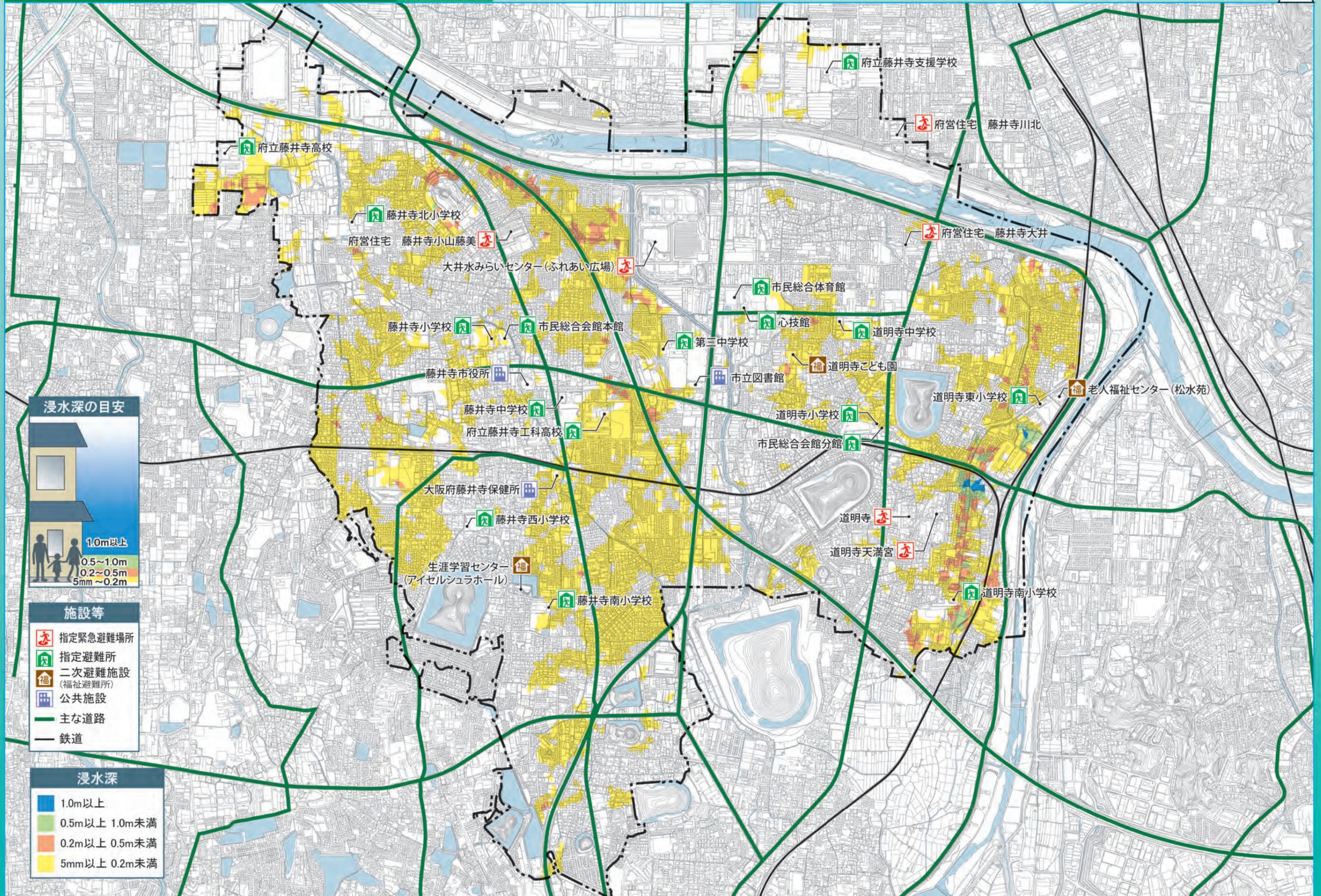
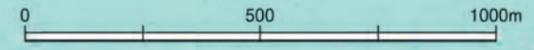
洪水ハザードマップ

洪水ハザードマップ

内水ハザードマップ

内水ハザードマップ(浸水想定区域) 市全域

1:15,000



浸水深の目安



施設等

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 二次避難施設 (福祉避難所)
- 公共施設
- 主な道路
- 鉄道

浸水深

- 1.0m以上
- 0.5m以上 1.0m未満
- 0.2m以上 0.5m未満
- 5mm以上 0.2m未満

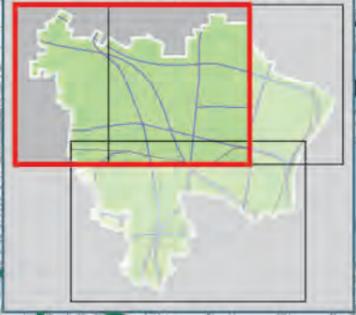
内水ハザードマップ

内水ハザードマップ

内水ハザードマップ(浸水想定区域) 市域西部



浸水深の目安

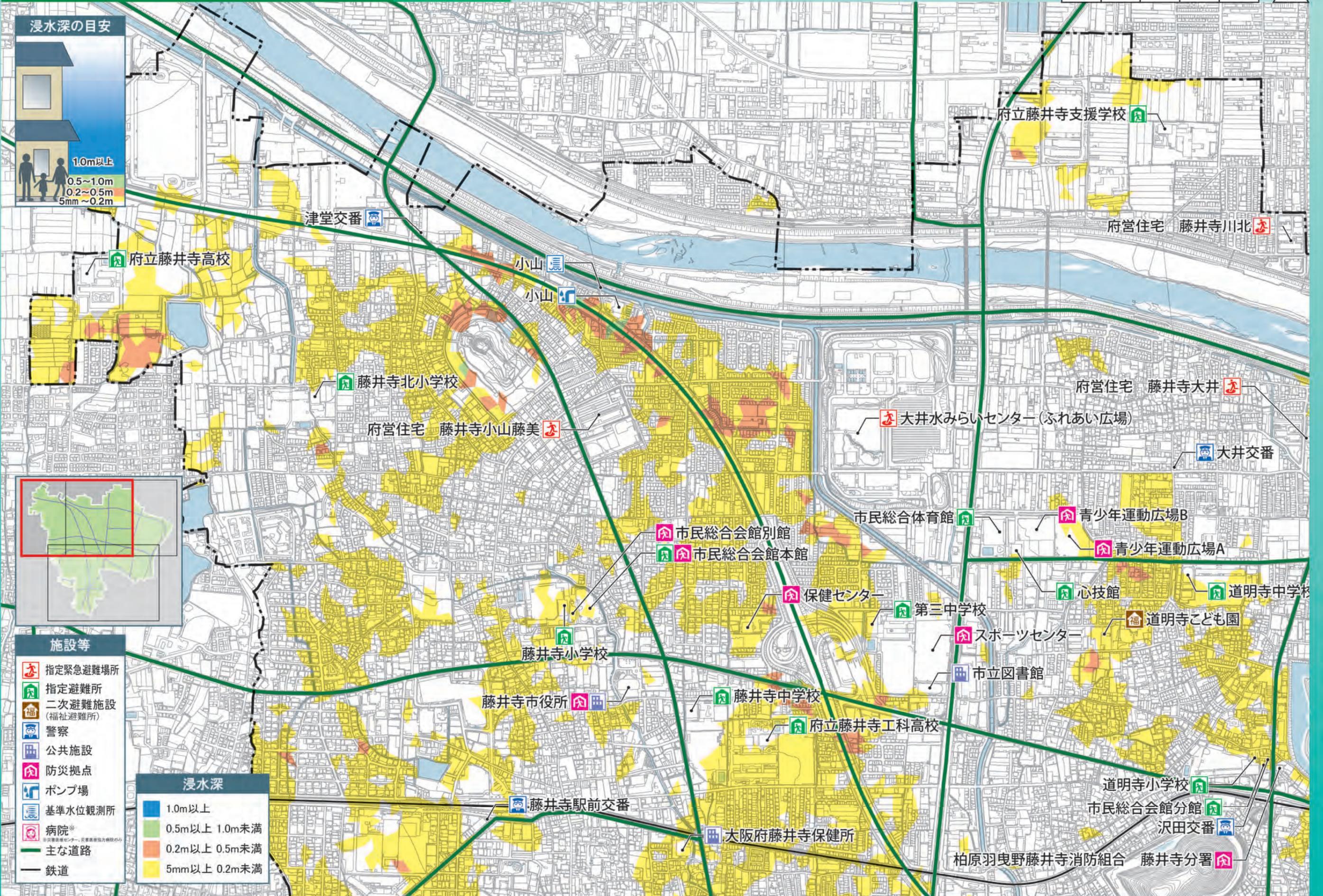


施設等

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 二次避難施設 (福祉避難所)
- 警察
- 公共施設
- 防災拠点
- ポンプ場
- 基準水位観測所
- 病院*
- 主な道路
- 鉄道

浸水深

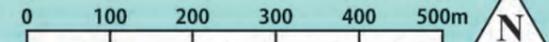
- 1.0m以上
- 0.5m以上 1.0m未満
- 0.2m以上 0.5m未満
- 5mm以上 0.2m未満



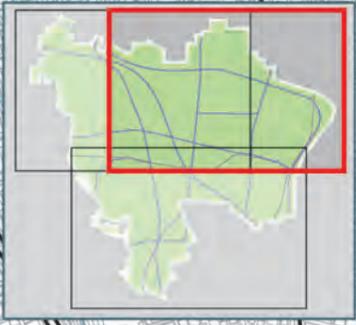
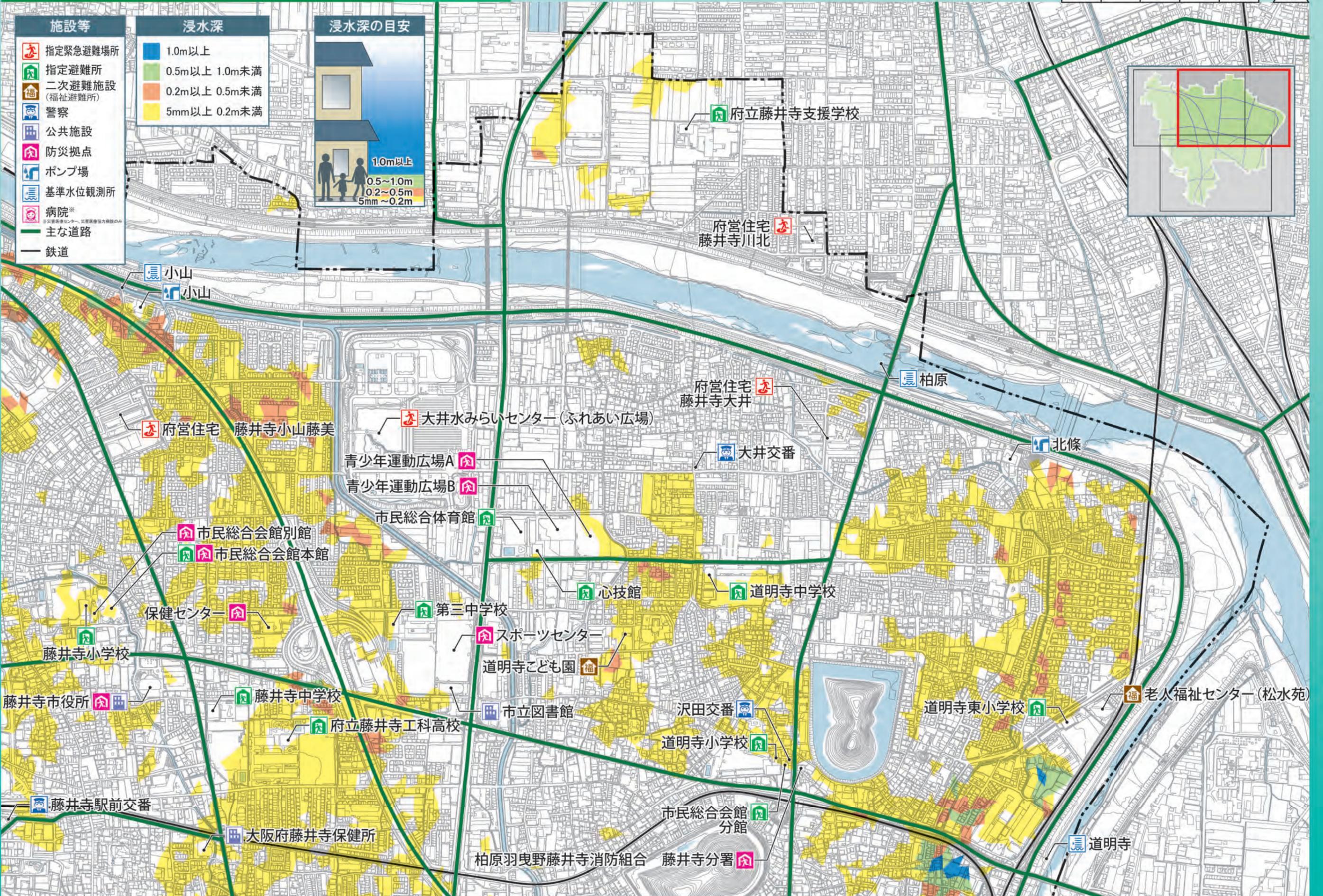
内水ハザードマップ

内水ハザードマップ

内水ハザードマップ(浸水想定区域) 市域東部



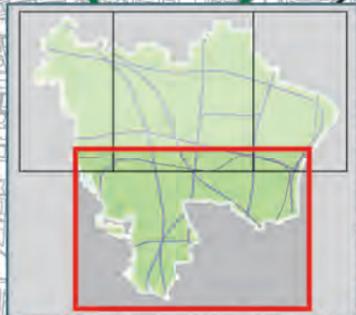
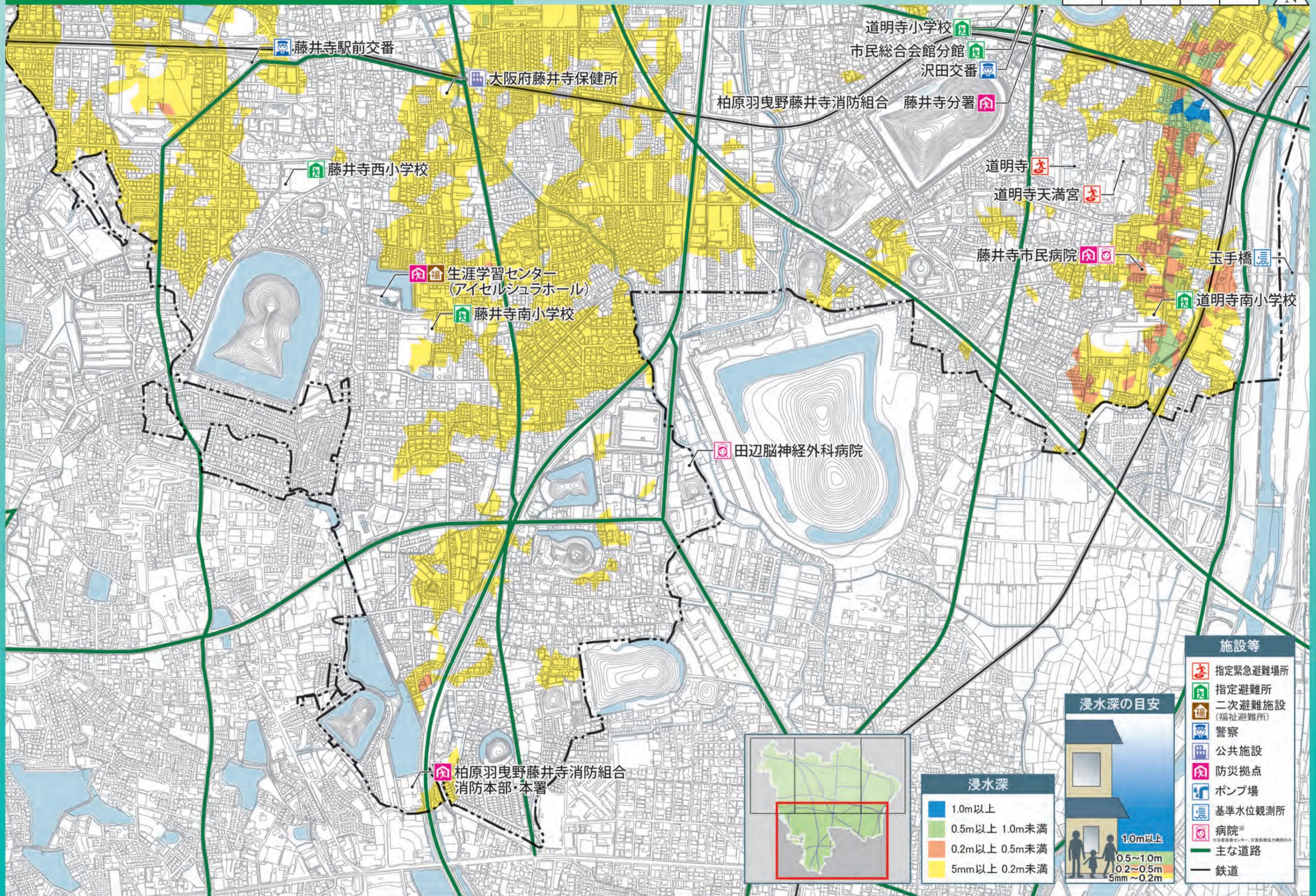
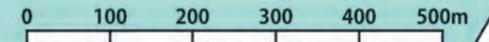
施設等	浸水深	浸水深の目安
指定緊急避難場所	1.0m以上	 1.0m以上 0.5~1.0m 0.2~0.5m 5mm~0.2m
指定避難所	0.5m以上 1.0m未満	
二次避難施設 (福祉避難所)	0.2m以上 0.5m未満	
警察	5mm以上 0.2m未満	
公共施設		
防災拠点		
ポンプ場		
基準水位観測所		
病院*		
主な道路		
鉄道		



内水ハザードマップ

内水ハザードマップ

内水ハザードマップ(浸水想定区域) 市域南部



浸水深	
1.0m以上	1.0m以上
0.5m以上 1.0m未満	0.5~1.0m
0.2m以上 0.5m未満	0.2~0.5m
5mm以上 0.2m未満	5mm~0.2m



- 施設等**
- 指定緊急避難場所
 - 指定避難所
 - 二次避難施設 (福祉避難所)
 - 警察
 - 公共施設
 - 防災拠点
 - ポンプ場
 - 基準水位観測所
 - 病院*
 - 主な道路
 - 鉄道
- * 災害時避難センター、災害時通信力向上のため

避難施設

開設する避難所は状況により変わりますので、避難の際には、市ホームページ、市公式LINEなど市が発信する避難所開設情報を確認してください。また、15ページに掲載の「避難の種類」も参考に市の避難所以外への避難も検討しておきましょう。

また、避難所に避難する場合や、安否情報など、離れたところにお住まいの家族などに知らせるための「災害用伝言ダイヤル」を是非活用してください。 災害用伝言ダイヤルの利用方法は6ページに掲載



- ◆一時避難場所(地震)
- ▼広域避難場所(地震)
- 指定緊急避難場所(大和川・石川氾濫時)
- 指定避難場所(風水害・地震)
- 指定避難場所(地震のみ)
- ▲二次避難施設(福祉避難所)

広域避難について

藤井寺市の避難所に向かうよりも、隣接市の避難所が近い場合やより安全に避難できる場合は、身の安全を確保するため、一時的に近隣自治体の避難所に避難することが可能です。

災害協定に基づく避難所

小山7丁目の大和川より北側にお住まいの方は、大正小学校への避難も可能です。

避難場所

切迫した災害の危険から一時的に逃れるための場所

◆一時避難場所(地震)

地震発生直後、広域にわたって人命に著しく大きな被害を及ぼすと予測される場合、一時的に市民の生命の安全を確保するための場所です。

施設名	所在地
① 藤井寺小学校運動場	北岡1-2-29
② 藤井寺南小学校運動場	藤井寺3-8-1
③ 藤井寺西小学校運動場	藤井寺4-1-57
④ 藤井寺北小学校運動場	小山3-284-1
⑤ 道明寺小学校運動場	沢田3-6-37
⑥ 道明寺東小学校運動場	国府2-5-21
⑦ 道明寺南小学校運動場	道明寺4-9-18
⑧ 藤井寺中学校運動場	御舟町2-9
⑨ 道明寺中学校運動場	林6-2-21
⑩ 第三中学校運動場	林1-2-1
⑪ 府立藤井寺支援学校運動場	川北2-5-23
⑫ 府立藤井寺工科高校運動場	御舟町10-1
⑬ 府立藤井寺高校運動場	津堂3-516
⑭ 野中宮山児童公園	野中2-3
⑮ 津堂市民野球場	津堂3-620-1
⑯ ふじみ緑地	小山藤美町880-40

▼広域避難場所(地震)

地震などによる火災の延焼拡大によって生じる熱などから身を守るための場所です。

施設名	所在地
① 国府遺跡	惣社2丁目地内
② 津堂城山古墳	津堂地内
③ 野中宮山古墳	野中2丁目地内
④ 大井水みらいセンター(ふれあい広場)	西大井1-407-1

○指定緊急避難場所(大和川・石川氾濫時)

大和川や石川が氾濫するおそれがある場合に、その危険から逃れるため、緊急的に一時避難する場所です。

施設名	所在地
① 大井水みらいセンター(ふれあい広場)	西大井1-407-1
② 道明寺天満宮	道明寺1-16-40
③ 道明寺	道明寺1-14-31
④ 府営住宅 藤井寺川北	川北3-5-1・6-2・7-3
⑤ 府営住宅 藤井寺大井	大井5-26-1・12-2
⑥ 府営住宅 藤井寺小山藤美	小山藤美町11-1

※④～⑥の各府営住宅は、共用部分のみ使用可能です。

避難所

一定期間滞在し、生活するための施設

●指定避難所(風水害、地震)

家屋の損壊、滅失、浸水、流出などにより避難が必要となった場合に避難所として開設する施設で、主に市内の各学校や公共施設です。

災害の種類(風水害、地震)によって、開設する施設が異なります。

○:避難所として利用できます ×:避難所として利用できません

施設名	所在地	災害種類	
		風水害	地震
① 藤井寺小学校	北岡1-2-29	○	○
② 藤井寺南小学校	藤井寺3-8-1	○	○
③ 藤井寺西小学校	藤井寺4-1-57	○	○
④ 藤井寺北小学校	小山3-284-1	×	○
⑤ 道明寺小学校	沢田3-6-37	○	○
⑥ 道明寺東小学校	国府2-5-21	×	○
⑦ 道明寺南小学校	道明寺4-9-18	×	○
⑧ 藤井寺中学校	御舟町2-9	○	○
⑨ 道明寺中学校	林6-2-21	×	○
⑩ 第三中学校	林1-2-1	×	○
⑪ 府立藤井寺支援学校	川北2-5-23	○	○
⑫ 市民総合会館本館(パープルホール)	北岡1-2-3	○	○
⑬ 市民総合会館分館	沢田3-6-36	○	○
⑭ 市民総合体育館	大井1-2-20	×	○
⑮ 心技館	大井1-2-20	×	○
⑯ 府立藤井寺工科高校※	御舟町10-1	—	○
⑰ 府立藤井寺高校※	津堂3-516	—	○

※府立藤井寺工科高校・府立藤井寺高校は、地震時のみの使用となります。

▲二次避難施設(福祉避難所)

避難所での生活が長くなると予測される時に、高齢者、障害者などの要配慮者に配慮して開設する施設です。

施設名	所在地
① 老人福祉センター(松水苑)	国府2-5-38
② 生涯学習センター(アイセルシュラホール)	藤井寺3-1-20
③ 道明寺こども園	林3-1-25

この情報は令和4年3月時点のものです。最新の情報は市のホームページで確認できます。

ホーム > 組織からさがす > 危機管理室 > 危機管理室 > 災害に備えて > 避難場所・避難所・防災拠点



インターネットによる情報入手先

【気象庁】あなたの街の防災情報

<https://www.jma.go.jp/bosai/>

発表中の注意報などの気象情報のほか、天気予報や降水量、雨雲の動きなどを全国の市町村単位で確認できます。



【国土交通省】川の防災情報

<https://www.river.go.jp/>

全国の河川の水位やライブカメラ、各観測所の情報を確認できます。



おおさか防災ネット

<http://www.osaka-bousai.net/fujiidera/index.html>



大阪府と府内の全市町村の共同により、気象に関する注意報・警報、地震情報、災害時の避難情報、ライフラインの運行・稼働状況などの防災情報を提供するポータルサイトです。

【大和川河川事務所】リアルタイム観測マップ

<https://www.kkr.mlit.go.jp/yamato/observationmap/index.html>



「川の防災情報」のうち、大和川流域の雨量・水位観測所の現在の観測状況を確認できます。

【大阪府】河川防災情報

<http://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/>

大阪府内各地の雨量、河川水位、港湾潮位などの情報を確認できます。



藤井寺市役所

<https://www.city.fujiidera.lg.jp/>

藤井寺市が発信する防災情報、避難情報、避難所開設情報などを確認できます。



防災行政無線放送内容の 電話確認サービス

防災行政無線の放送内容が電話で確認できます。

0800-200-9391 (フリーダイヤル)

※放送後24時間確認可能

詳しくは6ページ

LINE



藤井寺市では、市政やイベント情報、市の魅力などの情報のほか、災害等の緊急情報を積極的に発信するため、藤井寺市LINE公式アカウントを運用しています。

ID @fujiideracity

詳しくは5ページ

重ねるハザードマップ



国土交通省が運営する「重ねるハザードマップ」では、全国の洪水・土砂災害・高潮・津波のリスク情報、道路防災情報、土地の特徴・成り立ちなどを地図や写真に自由に重ねて表示できます。



いざというときの連絡先

機関名	連絡先	機関名	連絡先
藤井寺市役所	072-939-1111	藤井寺保健所	072-955-4181
羽曳野警察署	072-952-1234	柏原羽曳野藤井寺消防組合	072-958-0119
大阪広域水道企業団 藤井寺水道センター	072-939-1111	藤井寺市民病院	072-939-7031
大和川右岸水防事務組合	06-6694-0271	休日急病診療所	072-939-7194
西日本電信電話株式会社	113	大阪ガス	お客様センター
関西電力送配電株式会社 (停電や電線・電柱の設備異常)	0800-777-3081		ガス漏れ通報専用